

2017年度

高校生のための

「出張講義・講演一覧」

◆ 新潟医療福祉大学の教員が皆さんの高校で授業を行います ◆

新潟医療福祉大学では、将来、保健・医療・福祉・スポーツの分野での活躍を目指す高校生を対象に、各専門職の仕事内容や役割、また、大学での学びをより具体的に感じて頂く機会として、本学教員による「出張講義・講演」を実施しています。

身近なテーマを題材に、本学教員の様々な研究領域について分かりやすく解説することで、職業理解を促すとともに、今後の進路選択の参考にして頂ければ幸いです。

つきましては、本年度の講義・講演内容を掲載した一覧を作成致しましたので、今後の進路指導等にご活用下さい。

ご希望の講義・講演がございましたら、本学入試事務室までお気軽にお問い合わせ下さい。

医療技術学部

- ・理学療法学科
- ・作業療法学科
- ・言語聴覚学科
- ・義肢装具自立支援学科
- ・臨床技術学科
- ・視機能科学科
- ・救急救命学科

健康科学部

- ・健康栄養学科
- ・健康スポーツ学科
- ・看護学科
- ・社会福祉学科
- ・医療情報管理学科

社会福祉学部

医療経営管理学部



〒950-3198 新潟県新潟市北区島見町 1398 番地 新潟医療福祉大学 入試事務室

TEL 025-257-4459

FAX 025-257-4456

E-mail nyuusi@nuhw.ac.jp

URL <http://www.nuhw.ac.jp/>

2017年度 高校生のための「出張講義・講演一覧」

■お申し込み

実施日の1カ月前を目途に、ご希望の「講義番号」「担当教員」「希望日時（第1希望・第2希望）」と、「高校名・学年・受講予定人数・担当者および連絡先電話番号」をお知らせ下さい。後日、本学より詳細について連絡させていただきます。尚、担当教員の都合等により、ご希望の講義内容および日時にお応えできない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。また、こちらに掲載されている講義内容・担当教員以外についてもご相談に応じておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

■お問い合わせ

〒950-3198 新潟県新潟市北区島見町1398番地 新潟医療福祉大学 入試事務室

TEL : 025-257-4459 FAX : 025-257-4456

E-mail : nyuusi@nuhw.ac.jp URL : <http://www.nuhw.ac.jp/>

ホームページは「新潟医療福祉大学」で検索ください。

| | | | | | | |
|--------|--------|-----|--------|---------|----------------------------------|---|
| 医療技術学部 | 理学療法学科 | 教授 | 大西 秀明 | 講義番号 1 | ヒトの動きのメカニズムを考える | 人間が滑らかで自然な動きを遂行するためには、骨・関節・筋・靭帯・末梢神経・中枢神経系などの各器官が様々なレベルで滞りなく機能することが重要です。したがって、理学療法士は筋肉や神経・脳の構造と機能を十分に理解しておく必要があります。本講義では、筋肉や神経・脳の構造と機能について解説し、ヒトの動きのメカニズムについて考えます。 |
| | | 教授 | 小林 暈作 | 講義番号 2 | 寝たきり高齢者を減らすために | 高齢者の転倒は、骨折や転倒不安などを引き起こし寝たきりの原因になります。転倒を予防することは、寝たきり高齢者を減らすことに繋がります。高齢者はどうして転びやすいのでしょうか？転びやすさは調べられるのでしょうか？運動をすれば転びにくくなるのでしょうか？どんな運動をすれば良いのでしょうか？本講義で一緒に考えてみましょう。 |
| | | 教授 | 久保 雅義 | 講義番号 3 | 身体運動をコントロールしているのは誰だ？ | 「コップに手を伸ばす」「廊下を歩く」といった、普段はごく簡単に行っている運動も、よくよく考えると実は「簡単」ではありません。健康そのものの元気いっぱいの子どもでも、これらの技を習得するためには1年以上もの期間がかかってしまいます。さらに、これらの運動に関係している筋肉や骨の数を考えたと、ものすごく「複雑」なことになってくるのではないのでしょうか？本講義を通して、「簡単」で「複雑」な「身体運動」が、いったいどのようにしてできあがっているのか一緒に考えてみましょう。 |
| | | 教授 | 田巻 弘之 | 講義番号 4 | スポーツ科学の最先端テクノロジーを学ぶ | 本講義では、人間の運動能力を極限状態にまで高め、限界に挑戦するスポーツ科学の最先端テクノロジー（特に筋肉研究）を紹介し、スポーツのパフォーマンス向上に最先端科学が果たす役割について解説します。さらに、このような最先端スポーツ科学分野の研究成果が一般の人々の健康づくりに幅広く応用され、国民すべての健康の維持増進にも貢献していることについて理解を深めてもらいます。 |
| | | 教授 | 奈良 貴史 | 講義番号 5 | ヒトはどうして難産なのか ~人類進化の盲点~ | ヒトの特徴である直立二足歩行が、脳の拡大や言語の発達を促したことは紛れもない事実ですが、一方で肩こり、腰痛など多くの不具合の原因にもなっています。そして、直立二足歩行がもたらした不具合の一つに「難産」があります。つまり、難産は人類が人類であるが故に抱えた問題ともいえます。本講義では、ヒトの難産の仕組みと、その解消のために女性・子ども・パートナーがそれぞれに努力を重ねて今日にいたっていることについて解説します。 |
| | | | | 講義番号 6 | ネアンデルタール人類の消滅とホモ・サピエンスの誕生 | 現在、地球上に生息している人類は、我々現生人類であるホモ・サピエンスの1種だけです。しかし、人類の長い歴史のほとんどの時間に複数種の人類が存在し、絶滅してきました。本講義では、その種の一つであり、我々ホモ・サピエンスの最後の隣人ともいえるネアンデルタール人類の消滅をみながら、ホモ・サピエンスの誕生について考えます。 |
| | | | | 講義番号 7 | 日本人の起源を探る | あなたは縄文顔？それとも弥生顔？一重まぶたなどの特徴は、隠された過去の歴史を物語っています。日本列島にどのような人々が、どこから、いつごろ来たのか、日本人の起源を探るとともに、時代によって顔つきなどの体の構造が変化してきたことを明らかにします。本講義では、数万年に渡る日本列島の人類史を解説します。 |
| | | 教授 | 佐藤 成登志 | 講義番号 8 | あなたの姿勢は大丈夫？ | 加齢に伴い骨や筋肉は衰えていきます。衰えによって体の構造（姿勢）が変化し、機能（使い方）も変化していきます。この姿勢や使い方が、膝痛や腰痛の原因にもなっています。本講義では、加齢に伴う姿勢と使い方の変化を解説し、ご自身の姿勢や使い方をチェックします。「あなたの姿勢は本当に大丈夫ですか？」 |
| | | | | 講義番号 9 | 腰痛と上手く付き合う方法！ | 国民病と言われている「腰痛」。なぜ腰痛は起きるのでしょうか？本講義では、生徒の皆さんと一緒にその謎に迫っていきます。また、腰痛が起きるメカニズムとその対応方法や予防方法についても実技を行いながら分かりやすく解説します。「あなたも腰痛と上手く付き合っていくしましょう」 |
| | | 教授 | 相馬 俊雄 | 講義番号 10 | 骨折のリハビリテーション | 本講義では、若者から高齢者までの様々な年代における骨折のリハビリテーションについて解説します。また、整形外科疾患で多い骨折の手術方法、回復していく過程、そして、いつ、どのような時期に運動や筋力強化などのリハビリテーションを実施していくのか具体的に紹介します。 |
| | | 准教授 | 古西 勇 | 講義番号 11 | リハビリテーションの役割を考える | 障害をどのようにとらえるかが、障害を抱えた人の様々な問題を解決するための第一歩と言われています。本講義では、世界保健機関（WHO）が推進してきた「国際生活機能分類（ICF）」の活用方法を紹介し、リハビリテーションの役割について生徒の皆さんと一緒に理解を深めます。 |
| | | 准教授 | 椿 淳裕 | 講義番号 12 | 心臓や肺に病気を患った人へのリハビリテーション | 心臓や肺に病気を患うと、息切れや疲れやすさが原因で日常生活が行いにくくなります。これらの病気に対して行われるリハビリテーションは、その効果が科学的に示されています。では、どのようなリハビリテーションが行われ、どのような効果が現れるのでしょうか？耳慣れない分野のリハビリテーションですが、本講義では、その意義や効果のメカニズムなどについて説明します。 |

| | | | | |
|-----|-------|---------|---|--|
| 准教授 | 澤田純明 | 講義番号 13 | 遺跡出土骨から読み解く過去の人々の生活 | 古い時代の遺跡から発掘された出土物を調べるのは考古学者だけの仕事ではありません。遺跡で見つかった古人骨の分析には、解剖学や人類学の研究者たちも関わっています。病気や怪我の履歴、食事の内容、死亡した年齢、さらには当時の生活水準まで、古人骨には生前の暮らしを探るヒントがたくさん隠れています。本講義では、歴史を解明する方法の一つとして、遺跡出土骨の研究が担う役割と面白さを解説します。 |
| | | 講義番号 14 | ヒトはいつ肉食を始めたのか？ | 私たちホモ・サピエンスは動物の肉を多く食べますが、ヒトに最も近縁な霊長類であるチンパンジーやゴリラは果実や植物の葉を主食としています。実は、数百万年前に生きていた初期の人類も、植物食をメインにしていたようです。ヒトはいつから肉を食べるようになったのでしょうか？そして、肉を食べることによってヒトの体と生活はどのように変化したのでしょうか？本講義では、肉食開始問題を巡る最新の人類学の研究成果を紹介します。 |
| 准教授 | 森下慎一郎 | 講義番号 15 | がん患者様のリハビリテーション | 日本人の2人に1人はがんにになると言われています。がんは怖い病気ですが、がん患者様の生存率は年々上昇しています。5年生存率は2003年に比べ、2015年ではほぼ2倍に達しています。しかしながら、一度がんになってしまうと、家から出なくなったり、寝たきりになったりします。一方で海外を見てみると、がんの患者様でもしっかりと運動をすることが推奨されています。本講義では、がん患者様に対するリハビリテーションを分かりやすく紹介します。 |
| | | 講義番号 16 | 捻挫（ねんざ）などを正しく治療する「スポーツリハビリ」とは？ | スポーツを楽しむ際、常につけなければならぬのが、捻挫（ねんざ）などの怪我です。みなさんは、捻挫（ねんざ）をした場合にまず最初に何をしなければならぬのか知っていますか？本講義では、捻挫（ねんざ）の適切な治療法や予防法について分かりやすく解説します。 |
| 准教授 | 江玉睦明 | 講義番号 17 | ひとの体を正確に触る | リハビリテーションを行うにあたり、人間の体を皮膚の上から（体表上から）正確に触る（触察）ことは必要最低限の技術となります。しかし、正確な触察には3次元的な解剖学的知識や技術などが要求され、簡単なことではありません。本講義では、正確に触ることの重要性やそのための知識・技術について分かりやすく説明します。また、実際に骨・靭帯・筋肉・神経なども触ってみましょう。 |
| | | 講義番号 18 | 骨粗しょう症と骨折の予防について | 「骨粗しょう症」は、低骨量と骨組織の微細構造の異常により骨の脆弱性が増大し、骨折の危険性が増大するという疾患です。高齢者の骨折は近年増加しており、要介護の主要な要因となっています。また、「骨粗しょう症」は決して高齢者だけの疾患ではなく、若いうちから予防を考えていくことが大切な疾患です。本講義では、「骨粗しょう症」と骨折の予防について解説します。 |
| 講師 | 鈴木了 | 講義番号 19 | 暮らしと人のからだ ～からだの構造と日常動作～ | 「解剖学」とは何か？本講義では、人体の基本構造とその機能、日ごろの何気ない動作やそれらに対して湧く疑問などについて、身近な事例の紹介や体験を交えながら解説します。また、それらの作られ方（発生学）について解剖学・形態形成学の観点から理解してもらうことを目的としています。 |
| | | 講義番号 20 | 大学で学ぶことの意義 ～大学進学のスズメ～ | 「大学」とは何か？本講義では、大学進学を目指している生徒に、高校との違いや大学に進学することの意義について解説します。大学生に必要なこと、大学生の現状、大学での勉強法などを例に講義を行い、大学受験の目標、目的、意義を再確認してもらいます。また、大学生活へスムーズに移行するための道しるべとしてもらうことを目的としています。 |
| 講師 | 松本香好美 | 講義番号 21 | 呼吸リハビリテーションとは？ | あまり聞きなれない言葉かもしれませんが、呼吸リハビリテーションとは、呼吸器（肺など）の病気を抱える人を対象に行うリハビリテーションです。本講義では、呼吸器の構造や呼吸のしくみ、またタバコと病気の関係など、呼吸リハビリテーションの内容について詳しく解説します。 |
| 講師 | 大鶴直史 | 講義番号 22 | 脳は簡単にだまされる！？ | 自分が見たり、聞いたり、触れたりして感じている世界は、本当に現実そのものなのでしょうか？本講義では、いくつかの錯覚体験をもとに、いかに脳が勝手に世界を意味づけ（錯覚）しているかを紹介します。さらに、脳に錯覚させることが医療現場での治療に繋がる可能性についても分かりやすく解説します。 |
| 講師 | 菊元孝則 | 講義番号 23 | 「スポーツトレーナー」になるために必要なこと | 近年のスポーツ現場では、トレーナーと呼ばれる職業が注目されています。理学療法士の多くは病院で活動を行っていますが、プロチームでトレーナーとして活動している理学療法士もいます。本講義では、自身のプロチームでの帯同経験から、チームに帯同する「スポーツトレーナー」になるために必要な知識や経験を、現場でのエピソードを交えながら紹介します。 |
| | | 講義番号 24 | アスリートを守るために必要な障害予防とコンディショニング | オリンピックにおける活躍などの影で、多くのアスリートが怪我によって苦しい時間を過ごし、またその怪我が原因で引退を余儀なくされています。本講義では、日々の練習や試合などで生じやすいスポーツ障害・外傷について、さらには怪我をしない身体をどのように作るのかについて分かりやすく解説します。 |
| 講師 | 中村雅俊 | 講義番号 25 | スポーツ現場におけるストレッチングは必要？ | スポーツをやっている人の多くが運動前に行っているストレッチング。しかし、その効果について本当に分かっていますか？怪我の予防のためや筋肉痛の予防のため、はたまたまなんとなくやっている…という人も多いかと思いますが、本講義では、科学的根拠に基づいたストレッチングの効果を知りやすく解説します。ストレッチングの重要性が分かるとより効果的なストレッチングが出来るかも！ |
| | | 講義番号 26 | 筋力トレーニングの重要性について～インナートレーニングは必要？～ | 筋力アップや筋肉量の増加を目指して、プロスポーツ選手は日々、筋力トレーニングを行っていることは多くの人が知っている事実です。高校生でも筋力トレーニングを行っている人もいます。しかし、どうして筋力トレーニングをするのでしょうか？筋力トレーニングをすることで得られるメリット、デメリットとは何かなどを考えていますか？また、最近はやりのインナートレーニングや体幹トレーニングの効果を知っていますか？本講義では、そのような筋力トレーニングに関する情報を分かりやすく解説します。 |
| 講師 | 正木光裕 | 講義番号 27 | 元気な赤ちゃんと障害をもつ赤ちゃんの発達 | 赤ちゃんは生まれてから様々なことを経験して発達していきます。本講義では、元気な赤ちゃんの運動の発達、つまり「寝返り」「座ること」「四つ這い移動」「立つこと」そして「歩くこと」を獲得（修得）していく過程を、身体の筋肉や脳の働きと合わせて分かりやすく紹介します。また、生まれながらにして障害をもった赤ちゃんの運動の発達についても解説します。 |
| 助教 | 高橋英明 | 講義番号 28 | 国際協力～青年海外協力隊での活動～ | 本講義では、リハビリテーション分野における国際協力についての一例を紹介します。派遣国はフィジーです。派遣に至るまでの流れから派遣後における病院での問題点、活動内容などについて紹介します。また、大学4年間で準備するべきことについても説明します。“It's your turn to change the world.” |

| | | | |
|--------|--|---|---|
| 理学療法学科 | 助教 | 齊藤 慧 | 講義番号 29 電気刺激はリハビリテーションの効果を高める！？ 肩こりなどがあるときに使用する低周波治療器にはリハビリテーションの効果を高める作用があります。特に脳卒中のような脳に障がいをもった人々へのリハビリテーションの効果を高めることができます。本講義では、低周波治療器がリハビリテーションにどのような影響を与えて、それがどのようなメカニズムで起こっているのかを分かりやすく解説します。 |
| | | 玉越 敬悟 | 講義番号 30 脳卒中患者の半身麻痺がリハビリテーションで治るのはなぜか？ 脳卒中を発症すると半身麻痺になります。その麻痺は、積極的にリハビリテーションを行うことで回復していきます。しかし、リハビリテーションによって半身麻痺がなぜ治るのかは、よく分かっていません。最新の知見も踏まえ、現在明らかとなっているその仕組みを脳科学的に分かりやすく解説します。 |
| | 助教 | 犬飼 康人 | 講義番号 31 ”立つ”こと、”歩く”ことは、実は難しい！？ 私たちは、日々の生活の中で当たり前のように二足の脚で立位姿勢をとって、歩行動作を行います。しかし、ヒトは生まれてすぐには立位姿勢や、歩くことができない事から考えても、「二足の脚で立位姿勢をとる」「歩く」ということは、実は難しいことなのです。本講義では、ヒトが立つ・歩くといった動作について、ヒトの進化や発達、そして脳の機能について分かりやすく解説します。 |
| | | | 講義番号 32 脳卒中のリハビリテーションとは？ 脳卒中は、現在日本で介助を必要とする原因となる第1位の病気です。本講義では、脳卒中とはどんな病気なのか、また脳卒中になるとどのような症状が発生するのかについて分かりやすく解説します。今後、高齢化が加速していく日本で、さらに活躍が期待されている脳卒中の方へのリハビリテーションを最近の知見を含めて紹介します。 |
| | 助教 | 中村 絵美 | 講義番号 33 上肢のスポーツ障害とその予防～投球障害を中心に スポーツなどの各種競技を楽しくプレーするために、怪我をしない身体を作るために、まずは自分の身体のことを気にかけてあげましょう。本講義では、日々の練習や試合などで、高校生にも生じやすい上肢のスポーツ障害・外傷について分かりやすく解説します。さらに、セルフチェックを交えながら怪我の予防についてみなさんと一緒に考えます。 |
| | 助教 | 伊藤 渉 | 講義番号 34 アスリートを怪我から守る「理学療法士」 厳しいトレーニングを積むことで発揮されるパフォーマンスによって私たちに感動を与えてくれるアスリート。輝かしい活躍のかけには怪我に苦しむアスリートもたくさんいます。本講義では、どうやって怪我から復活するのか、どうやって怪我をしない体を作るのかについて分かりやすく解説します。また、ラグビーU20日本代表トレーナーとしての活動経験からも理学療法の楽しさを伝えます。 |
| | 助教 | 神田 賢 | 講義番号 35 「海外」で勉強するには？働くには？ 「海外」に興味がある人はたくさんいると思います。語学留学をしたい人、大学で学びたい人、資格を取りたい人、働きたい人…。漠然とした興味や目標はあったとしても、実際にこの目標に向かっていくには“何をしたらいいのか”、“どのような選択肢があるのか”、“どのように進めていったらいいのか”がわからない人はたくさんいると思います。本講義では、実際にアメリカ生活16年の経験をもとにそれらの「わからない事」について説明します。また、本学科で行っている海外研修について紹介します。 |
| | 助教 | 佐伯 史子 | 講義番号 36 発掘された古人骨の身長を復元する みなさんは遺跡から出土した古人骨の身長をどうやって推定するのか知っていますか？昔の人たちの身長を知ることにどのような意義があるのでしょうか？本講義では、骨の解剖学を踏まえながら人骨から身長を推定する方法を分かりやすく解説します。さらに、身長の変化の背景に何が隠されているのかを読み解きます。 |
| | 助教 | 萩原 康雄 | 講義番号 37 「ヒトの骨」からわかること 私たちの体には約200個の骨が存在します。そしてそれらの骨には、私たちの生活習慣や病気などについて、様々な情報が隠されています。本講義では、人類学的な背景から、人それぞれに様々な違いが見られる「ヒトの骨」について分かりやすく解説します。 |
| | 助教 | 高林 知也 | 講義番号 38 ヒトの「歩き」について考える 私たちが行っている「歩き」の動作は、普段意識することなく、半ば自動化された運動です。しかし、「歩き」は神経や関節、筋肉などの動きで巧みにコントロールされており、実は複雑な動作です。本講義では、「歩き」がどのような仕組みで行われているのかを分かりやすく解説します。 |
| 助教 | 宮口 翔太 | 講義番号 39 ヒトの運動と脳機能の関係を考える 私たちは普段何気なく手や足を動かしていますが、それらの動きは脳からの命令によってコントロールされています。本講義では、運動と脳機能の関係について、筋肉や神経、脳の構造や機能について解説するとともに、どのような運動をすると脳の活動が変化するのか、また脳の活動がどのように変化すると動きが変わるのかについて分かりやすく解説します。さらに、脳卒中の患者様などの麻痺肢のリハビリテーションを行う際に効果的な運動や脳への刺激についても解説します。 | |
| 作業療法学科 | 教授 | 大山 峰生 | 講義番号 40 手外科とハンドセラピー ハンドセラピーとは、交通事故などによって損傷を受けた手の機能を回復させる作業療法の領域の一つです。手の機能を良好な状態にまで回復させ、実際に手が使えるようにするためには、手外科専門医の治療に加えてハンドセラピーが必要です。現在では、一定レベルの知識・技術に達したセラピストに日本ハンドセラピー学会から認定資格が与えられています。本講義では、手の機能とハンドセラピストの仕事内容について分かりやすく解説します。 |
| | 教授 | 能登 真一 | 講義番号 41 QOLとは何か？人のQOLはどのように測定するのか？ 人のQOL(生活の質、生命の質)は現代において重要な視点です。近年、医療や福祉の分野では、対象者のQOLを尊重したり、QOLの向上を目指したりすることが特に重要視されています。本講義では、人のQOL、特に健康に関連するQOLがどのような要素で構成され、どのように測定するのかを分かりやすく解説します。 |
| | | | 講義番号 42 人間らしい生活を行うために 注意、記憶、言語、空間認知、遂行機能などは高次脳機能と呼ばれ、人が人間らしく生活していくためには欠かせない機能です。しかし、脳卒中や認知症では、それらの機能が障害されてしまうことがしばしばあります。本講義では、高次脳機能が障害された時、どのような症状を引き起こすのかを分かりやすく解説します。 |
| | 教授 | 永井 洋一 | 講義番号 43 作業のパワー 作業療法は、リハビリテーションの大切な分野の一つで、子どもからお年寄りまで障がいのある方々の暮らしの立て直しを支援する専門的な技(わざ)と科学です。作業を利用して障がいのある人の暮らしを助けるというのはどういうことでしょうか？作業は、どんなことを意味していて、なぜ治療に使えるのでしょうか？本講義では、そんな疑問を参加型の授業で解き明かします。医療・福祉に興味のある人は、一緒に考えてみましょう。 |
| | 講義番号 44 脳のふしぎな働き 毎日の暮らしの中で私たちは何気なく脳を使って様々な課題をこなしていますが、もし脳が「故障」したらどうなるのでしょうか？どんなことで困るようになるのでしょうか？本講義では、そんな疑問について、写真やイラストを用いて分かりやすく解説します。ただ受け身で聞くだけではなく簡単な実技も交えながら行う、参加型の楽しい授業です。理系の科目に強くない人でも大丈夫！ | | |

| | | | | |
|--------|--------|---|-------|---|
| 医療技術学部 | 作業療法学科 | 教授 | 永井 洋一 | 講義番号 45 あなたは器用？それとも不器用？ 「オレってどうしてこんなに字が下手なんだろう？」「私、手芸とかチョー苦手だし…」と悩んでいるあなた！作業療法士が器用・不器用についてとても分かりやすく説明します。本講義は、座学だけではなく、簡単な実技検査(日本版感覚統合検査、感覚統合臨床観察など)を用いてあなたがどのくらい不器用なのかも判定できる、体験型の楽しい授業です。将来、医療・福祉の専門職を目指している人はぜひ受講してみてください。 |
| | | 教授 | 今西 里佳 | 講義番号 46 作業療法士が行う日常生活活動訓練と環境調整 病気が怪我による障害のために食事や排泄、着替え、身なりの整頓、入浴などの生活動作が一人ではできなくなる方がいます。そのような人々に対し、作業療法士(OT)は一人ひとりの障害を把握し、様々な動作の訓練を行うと同時に、福祉用具を選んだり、自宅で安全に暮らせるように家屋の改修を提案したりします。本講義では、作業療法士(OT)の役割についても分かりやすく解説します。 |
| | | | | 講義番号 47 快眠はなぜ必要なのか？～良眠がもたらす効果について～ 私たちの身体には、体内時計が刻む生体リズムがあり、体調や気分、活動をコントロールしています。元気な毎日過ごすためには、睡眠が大きな役割を果たしています。食事の摂り方や光の浴び方は、睡眠や覚醒(目覚めている状態)に影響を与えます。夜寝る前のゲームやTV、至近距離で見る携帯やスマホの光は良眠を妨げます。生活習慣を少し変えることで睡眠の質は変わり、快眠により勉強をはじめとする昼間のパフォーマンスは変わります。本講義では、QOL(生活の質)の向上を目指す睡眠のメカニズムについて解説します。 |
| | | 准教授 | 渡邊 良弘 | 講義番号 48 「よく生きるヒント」～ウェルビーイングについて～ 誰も健やかで、無理や我慢のない穏やかな暮らしをおくりたいものです。そう思っただけでも周りの意見の影響を受け、自分がどう思われているかを気にして普段から自分自身を抑えてはいないでしょうか？周りの人によく思われたい気持ちは、常に自分の幸せより優先するのでしょうか？ウェルビーイングは、自分の意見を大切にしながら、暮らしの中で自分を活かすことです。本講義では、問題を穏やかにときほぐすコツを紹介し、より健やかで幸せに生きるヒントを提供したいと思います。 |
| | | | | 講義番号 49 若者の自殺について～人の死について一緒に考えよう～ 2016年1月に内閣府が行った意識調査では、20代の10%が「この1年以内に本気で自殺を考えたことがある」と回答しています。また自殺で亡くなる若い世代も増えています。本講義では、どうすれば若者の自殺を予防することができるのかについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。 |
| | | 准教授 | 能村 友紀 | 講義番号 50 その人らしい生き方を支援する「作業療法」 病気が怪我で障害を負ってしまうと、これまでと同じような生活行為ができなくなる場合があります。作業療法士は心と体の回復を促進するとともに、その人らしい生き方が行えるように援助を行う非常に意義のあるリハビリ専門職です。本講義では、作業療法士の役割とその支援方法について分かりやすく解説します。 |
| | | 講師 | 貝淵 正人 | 講義番号 51 ヒトはなぜそのように動くのか？ 私たちが普段何気なく行っている動作でも、実は一つひとつ効率的で安全な動きをしています。「普通」の状態により近づけることを目的としているリハビリテーションにおいて、この「普通」を理解することはとても重要です。本講義では、ヒトが動けるのはなぜか、普段の動きの「普通」とは何かについて解説します。 |
| | | 助教 | 外川 佑 | 講義番号 52 作業療法士にできること ある日、あなたやあなたの家族、もしくは大切な人が病気が怪我によって人間らしいこと(日常生活の身の回りのこと、家事、仕事、趣味etc.)ができなくなった場合、あなたならどうしますか？作業療法士はこのようなできなくなったことを取り戻せるように訓練したり、違う形でできるように環境を整えたりします。本講義では、作業療法士が行っているリハビリテーションとその魅力について分かりやすく解説します。 |
| | | 助教 | 藤目 智博 | 講義番号 53 生活における手の役割とは？ 手は生活を豊かにしてくれる道具であり、仕事や家事に欠かすことのできない道具です。趣味やスポーツなどでも、人はあらゆる場面で手を使い生活を送っています。もし、事故や病気で手が使えなくなると、生活はどうなるのでしょうか？作業療法士は生活を支えるリハビリテーション専門職です。本講義では、手の機能や役割を通じて、人の生活と作業療法の魅力を紹介いたします。 |
| | | 助教 | 浅尾 章彦 | 講義番号 54 脳卒中のリハビリってどんなことをするの？ 脳卒中の発症後には、運動・感覚・認知などに障害があらわれることがあります。なぜこのような障害が生じるのでしょうか？障害が生じた場合、どのようなリハビリが必要なのでしょう？本講義では、非侵襲的脳刺激(痛みなく直接脳を刺激すること)などによる新たなリハビリ方法や私たち作業療法士が提供するリハビリについて分かりやすく解説します。 |
| 助教 | 間宮 靖幸 | 講義番号 55 多彩な認知症の症状について 昨今、メディアで盛んに認知症が取り上げられています。よく知られている症状は記憶障害ですが、その他にも色々な症状が出てきます。言葉がうまく出ない、変な幻が見える、うまく歩くことができなくなった、などその症状は多彩です。本講義では、認知症についての症状について分かりやすく解説します。また、普段の生活でどんなことを気をつければ認知症にかかりにくいのかについても紹介します。 | | |
| 言語聴覚学科 | | 教授 | 山岸 達弥 | 講義番号 56 医療職を目指す人に～ことばの障害からのアプローチ～ 近年、医療職種は多岐に渡り、それぞれの職種が高度に専門化してきています。本講義では、これから医療職を目指すみなさんに、ことばの障害やコミュニケーション障害からのアプローチを通して医療職種の、特に言語聴覚士の仕事の楽しさや意義について分かりやすく解説します。 |
| | | 教授 | 佐藤 克郎 | 講義番号 57 音声言語によるコミュニケーション 私たちは、口から発した言葉を耳で聞くという作業を繰り返して人とコミュニケーションをとっています。その作業は、特に意識せず何気なく行われていますが、実は生体が様々な反応を組み合わせる行う大変高度なプロセスなのです。本講義では、人が声帯で作った音声を耳で感じ、最終的に言葉と認識するまでの仕組みについて分かりやすく解説します。 |
| | | 准教授 | 吉岡 豊 | 講義番号 58 言葉の臨床って何だろう？ 言葉に不自由さを抱えている人は、困っている状況を詳細に説明することができません。言語聴覚士は、患者様がどこにどのような問題を抱えているのかを行動観察と質問によって把握していきます。本講義では、普段の生活でもきっと役に立つ、言葉の臨床で実際に行っている情報収集の方法について説明します。 |
| | | | | 講義番号 59 「聞こえ」と「話すこと」の不思議な関係 皆さんはおしゃべりに夢中になるあまり、言い間違いを連発することはありませんか？そんなときは、誰もが自分の間違いに気づくはずですが、このように私たちは、自分の話したことを常にモニタリングしています。本講義では、そんな「聞こえ」と「話すこと」との関係について分かりやすく説明します。 |
| 准教授 | 吉岡 豊 | 講義番号 60 「聞こえ」の不思議 私たちの耳は、多少音が不完全であったとしてもメッセージを聞き取ることができます。また、耳が二つあると片耳よりも両耳で音を聞いた方が少し大きく聞こえます。本講義では、皆さんと一緒に様々な体験をしながら、そのような「聞こえ」の不思議について分かりやすく解説します。 | | |

| | | | | | |
|------------|-----|--------|---------|---|---|
| 言語聴覚学科 | 講師 | 渡辺 時生 | 講義番号 61 | マンガ「志乃ちゃんは自分の名前が言えない」を通して考える | 吃音(きつおん)、いわゆる「どもる」とはどういうことなのでしょう？単なる言い間違いとは違い、吃音はどのような問題を含んでいるのでしょうか？また、吃音を持つ人たちはどのようなことに困ったり悩んだりするのでしょうか？本講義では、標題のコミックを通して吃音について検討します。吃音を通して障害とは何なのか、一緒に考えてみませんか？ |
| | | | 講義番号 62 | 「声のふしぎ」を探る | 私たちは普段何気なく高い声・低い声、大きな声・小さな声など様々な声を出していますが、それはどのような仕組みで行われているのでしょうか？また、時々、声が枯れてしまうことがあります、それはどうしてなのでしょう？本講義では、そんな「声のふしぎ」について分かりやすく解説します。実際に装置を使って声をパソコンで分析したり、ファイバースコープで撮影した喉(のど)の動画を見たりして、声の機能と病態について一緒に学びましょう！ |
| | | | 講義番号 63 | 自分の想いを伝えてみよう～哲学カフェを体験する～ | 哲学カフェとは、難しい専門用語を一切使用せずに、身近な悩みや疑問についてじっくり考える「集いの場」です。自分の想いを言葉で伝えることは簡単なことではありません。もしかしたら、コミュニケーションに苦手意識を持っている方も多かもしれません。本講義では、哲学カフェを体験し、どんな意見も、どんな言葉も、どんな思想も、そのすべてを受け入れて、自由に自分の想いを伝える練習をします。 |
| | 講師 | 栗崎 由貴子 | 講義番号 64 | 高次機能とその障害 | 物や文字を見る、音や声を聴く、言葉を話す、物事を記憶するなど、私たちが普段、無意識的に行っているこれらの行為は脳の高次機能と呼ばれています。脳が損傷するとその高次機能に障害が発生し、様々な症状を引き起こします。本講義では、皆さんが普段行っている高次機能と、脳が損傷した際の障害について分かりやすく解説します。 |
| | | | 講義番号 65 | 会話で相手を支援する際のコツ | 苦悩を抱える人から相談されたとき、皆さんはどのようなことを心がけながら会話をするのでしょうか？きっと普段の日常会話とは少し違った「コツ」が必要になるでしょう。本講義では、会話で相手を支援する際のコツをみなさんに紹介します。特別な道具や機械は必要ありません。大切なことは「ことば」や「からだ」を用いた会話です。 |
| | | | 講義番号 66 | 「ことば」と心理的苦悩の不思議な関係 | 例えば、私がいま「白いポスト」と言うとき、するとどうでしょう？あなたは頭の中に白いポストをイメージしてしまうのではないのでしょうか。実は「ことば」が持つイメージを喚起する働きは、時に過剰な不安や気分の落ち込みなどの苦悩を生み出します。本講義を通して、「ことば」の働きを理解するとともに、心理的苦悩に惑わされず自分らしく生きていくための体験的なエクササイズをしてみましょう。 |
| | 講師 | 石本 豪 | 講義番号 67 | 他者と広く分かり合うためのコツ | 私たちが生きている世界は、立場や価値観が異なる人々で成り立っています。それは学校でも医療現場でも同じです。立場や価値観が異なる人々がチームを組んで物事に取り組むことが求められることがありますが、時には対立や批判でチームが建設的に機能しないこともあります。本講義では、立場や価値観の違いを超えて、他者と広く分かり合うための考え方の根底を分かりやすく解説します。 |
| | | | 講義番号 68 | 「難聴」を理解しよう | 皆さんも「難聴」とは、聞こえにくい、もしくは聞こえないことだということは知っていると思います。でも自分が「難聴」でなければ、「難聴」であればどんなことで困るのか、どんな気持ちで毎日を過ごしているのかなど、考えたことはないと思います。本講義を通して、聞こえにくい、もしくは聞こえないことについて、疑似難聴体験をしながら一緒に考えていきましょう。 |
| | | | 講義番号 69 | 言い間違いはなぜ起こる？～ことばの不思議を探検してみよう～ | 「いってきます」と言おうとして「いただきます」なんて言い間違えたことはありませんか？会話の中で「右」と言おうとしているのに間違えて「左」と言いつつ、自分の言い間違いに気がつかず会話を進めているお友だちに気づいたことはありませんか？わたしたちは時々言い間違いをします。どうして言い間違いは起こるのでしょうか？脳の中のことばの仕組みをひも解いてみましょう。普段何気なく使っている「ことばの世界」が違って見えるかもしれませんね。 |
| 医療技術学部 | 講師 | 菜原 桂 | 講義番号 70 | 脊髄損傷者の生活 | 本講義では、脊髄損傷者の生活についてリハビリテーション医療の立場からスライドや動画を使って紹介します。両下肢または両上下肢が完全に麻痺した人が、自立した生活を送るためにどのような工夫をして訓練を行っているのかなどの実例を紹介しながら、理学療法士、作業療法士、義肢装具士、看護師、ソーシャルワーカーなどの連携・役割について説明します。 |
| | | | 講義番号 71 | 脳卒中のリハビリテーション | 本講義では、脳卒中片麻痺者のリハビリテーション医療の基本的な内容や問題点についてスライドを使って紹介します。片側の上下肢が麻痺した人は、総じて様々な合併症をとまなうことがあります。これらに対処しながら訓練を行う理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、義肢装具士、看護師、ソーシャルワーカーなどの連携・役割について説明します。 |
| | | | 講義番号 72 | 歩行と健康 | 「歩行」はヒトにとって、単に移動するための手段だけではありません。実は、歩行には体温の上昇、老化防止、血行促進、ストレス解消、体脂肪燃焼、生活習慣病の予防など、様々な効果があります。本講義では、実際の歩行分析の手法を用いた研究事例の紹介を交えながら、歩行の運動学的仕組みや歩行分析について分かりやすく解説します。 |
| | 教授 | 真柄 彰 | 講義番号 73 | モーショキャプチャーによるデータの実践的活用～腰の負担軽減のためのデバイス開発～ | 「モーショキャプチャー」は人間の動きをコンピュータで取り込んで三次元的に解析する手法の一つです。この方法を用いると、人間の動きだけでなく、関節にかかる負担も分析できます。本講義では、「モーショキャプチャー」によって調べた様々な動作における腰の負担や私が開発した腰の負担を減らすための手段について紹介します。 |
| | | | 講義番号 74 | 腰痛借金返済で腰痛予防 | 身体に生じる症状の中で、「腰痛」が世界で最も多い症状となっています。その「腰痛」は蓄積された負担(腰痛借金)によって生じると考えられています。本講義では、「腰痛」発生のメカニズムとその対処方法を借金に見立てて分かりやすく紹介し、「腰痛」を予防するための手段について紹介します。 |
| | | | 講義番号 75 | 義足・義手は知っているけど、「装具」って何？ | 一般的にメディアで紹介されることの多い義足・義手は皆さんもよく知っていると思いますが、義肢装具士として関わるものには他にも「装具」と呼ばれるものがあります。この装具には、整形外科疾患の治療目的で製作される「治療装具」や、病気の状態が落ち着いて障害が残った際に機能補助のために製作される「更生用装具」があります。本講義では、これらの「装具」について分かりやすく解説します。 |
| 義肢装具自立支援学科 | 准教授 | 勝平 純司 | 講義番号 76 | 下肢切断と義足の特徴 | 下肢切断は6つの型に分けることができ、切断者の多くは、義足を使用して生活しています。しかし、「義足はどのような構造になっているのか」、「機能はどのようなのか」など詳細についてはあまり知られていません。そこで、本講義では、体験用義足を使用しながら義足の構造や機能について分かりやすく解説します。 |
| | | | 講義番号 75 | 義足・義手は知っているけど、「装具」って何？ | 一般的にメディアで紹介されることの多い義足・義手は皆さんもよく知っていると思いますが、義肢装具士として関わるものには他にも「装具」と呼ばれるものがあります。この装具には、整形外科疾患の治療目的で製作される「治療装具」や、病気の状態が落ち着いて障害が残った際に機能補助のために製作される「更生用装具」があります。本講義では、これらの「装具」について分かりやすく解説します。 |
| 義肢装具自立支援学科 | 准教授 | 笹本 嘉朝 | 講義番号 76 | 下肢切断と義足の特徴 | 下肢切断は6つの型に分けることができ、切断者の多くは、義足を使用して生活しています。しかし、「義足はどのような構造になっているのか」、「機能はどのようなのか」など詳細についてはあまり知られていません。そこで、本講義では、体験用義足を使用しながら義足の構造や機能について分かりやすく解説します。 |
| | | | 講義番号 76 | 下肢切断と義足の特徴 | 下肢切断は6つの型に分けることができ、切断者の多くは、義足を使用して生活しています。しかし、「義足はどのような構造になっているのか」、「機能はどのようなのか」など詳細についてはあまり知られていません。そこで、本講義では、体験用義足を使用しながら義足の構造や機能について分かりやすく解説します。 |
| | 講師 | 前田 雄 | 講義番号 76 | 下肢切断と義足の特徴 | 下肢切断は6つの型に分けることができ、切断者の多くは、義足を使用して生活しています。しかし、「義足はどのような構造になっているのか」、「機能はどのようなのか」など詳細についてはあまり知られていません。そこで、本講義では、体験用義足を使用しながら義足の構造や機能について分かりやすく解説します。 |

| | | | |
|------------|-------------------|--|---|
| 義肢装具自立支援学科 | 講師 | 須田 裕紀 | 講義番号 77 体験用の義足・義手を使ってリハビリ専門職種の仕事を理解しよう 皆さんは「パラリンピックの義足ランナー」や「筋電義手」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？手や足を失った対象者に義肢装具を適合する専門職として「義肢装具士」という職種があります。義肢装具士は、医療専門職でありながら物づくりを通して患者様の自立の支援を行います。本講義を通して、このようなリハビリ専門職種について、体験用の義足や義手を用いて仕事の内容を理解し、障害者の生活や日常生活の動作を一緒に考えてみましょう。 |
| | 助教 | 高橋 素彦 | 講義番号 78 走るための義足とは？ パラリンピックを代表する障害者スポーツでは、競技種目によって専用の義足・義手・装具が使用されます。特に『走る』ために使用される義足の足部は、弓のような形状をしており、特殊な素材「カーボンFRP」が用いられています。本講義では、日常で使用される義足と走行で使用される義足について、実物と体験用模擬義足を用いて分かりやすく解説します。 |
| | 助教 | 郷 貴博 | 講義番号 79 知ってみたい！義肢装具と福祉用具の世界 福祉用具って聞いたことはあるけど実際はどんなもの？そもそも義肢装具ってなに？本講義では、そんな疑問・興味をお持ちの方に、義肢装具と福祉用具について、その種類や用途、使い方などを実際に触れてもらいながら分かりやすく解説します。 |
| 医療技術学部 | 教授 | 中村 藤夫 | 講義番号 80 医療現場で活躍する臨床工学技士 現在の医療現場において高度医療機器はなくてはならない存在です。その高度医療機器の操作や保守・管理を行うという重要な役割を担う専門職が「臨床工学技士」です。本講義では、臨床工学技士の資格取得について、さらにはその業務内容の実際について分かりやすく解説します。 |
| | | 慢性腎不全治療の実際 | 私たちの国では、糖尿病からの合併症による腎炎の発症に伴い、透析患者の総数は年々増加し、その数はおおよそ35万人に達しようとしています。本講義では、1912年アベル(Abel)によって行われた世界初の血液透析から、現在の私たちの国における慢性腎不全治療の実際について分かりやすく解説します。 |
| | 教授 | 尾崎 京子 | 講義番号 82 院内感染を防げ！ テレビや新聞で、病院内で集団発生した感染症(院内感染)が大きな問題として報道されることがあります。医療機関のスタッフは、このようなことが起きないように日頃から努力しています。それなのにどうして院内感染は起きてしまうのでしょうか？本講義では、院内感染防止対策における臨床検査技師の役割について説明します。 |
| | 教授 | 小澤口 治樹 | 講義番号 83 センサー技術と医療 人の五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)に代わって、光・温度・音・形などの様々なものを検知し測定する素子である「センサー素子」が世の中で広く使われています。この「センサー素子」は安心安全な生活を送るために、なくてはならない技術です。本講義では、このセンサー技術の最新動向を分かりやすく解説するとともに、医療機器に使われ先進医療技術分野で活躍しているセンサーの数々について紹介します。 |
| | 教授 | 三嶋 行雄 | 講義番号 84 DNAを学ぼう 近年、遺伝子(DNA)の分子構造や塩基配列についての研究が進み、DNAの変異(原因遺伝子)により、がんや生活習慣病などの病気が引き起こされることが明らかになってきました。これらDNAの情報を遺伝子検査することで、遺伝子診断や個人識別などに応用することができます。本講義では、遺伝子検査に関する基礎的なことから実践的なことまで分かりやすく解説します。 |
| | 教授 | 久保野 勝男 | 講義番号 85 世界に通用する日本の臨床検査 我が国の医療は、国内中心だった時代から、今や世界各地に展開し、貢献しています。臨床検査においてもこの流れは同様です。本講義では、世界に通用するための臨床検査(測定値)の国際標準化の現状について分かりやすく解説します。また、臨床検査技師が中心となって実施している、日本の医療現場への国際標準の導入についても紹介します。 |
| | 准教授 | 牧口 智夫 | 講義番号 86 臨床工学と臨床検査学を融合した「臨床技術学」とは 本学では、臨床工学と臨床検査学の融合を目指す臨床技術学科を日本で初めて設置し、学生全員が「臨床工学技士」と「臨床検査技師」のダブルライセンス取得を目指しています。本講義では、本学科で養成する「臨床技術者(臨床工学技士・臨床検査技師のダブルライセンス取得者)」の将来の可能性について分かりやすく解説します。 |
| | | 医療で用いられている検査画像診断装置の基礎 | 医療機関では、X線診断装置(レントゲン)、X線CT(Computerized Tomography)装置、核医学診断装置、MRI(Magnetic Resonance Imaging)装置、超音波診断装置(エコー)などの様々な検査画像診断装置が用いられています。本講義では、これら装置の原理を分かりやすく解説します。 |
| | 准教授 | 渡邊 博昭 | 講義番号 88 臨床検査技師の役割 臨床検査技師の役割の一つには生理学的検査があります。本講義では、心臓の脈に乱れがないかどうかの検査や肺活量の検査に使用する「心電図計」や「スパイロメータ」の使用方法を分かりやすく解説します。また、検査する側(臨床検査技師)と検査される側(患者様)について検査装置を実際に使用して実習形式で体験学習を行います。 |
| | 准教授 | 川村 宏樹 | 講義番号 89 なぜ人間は病気から身を守れるのか？～からだの防御機能と免疫検査～ 皆さんの中で、おたふくかぜや水ぼうそうに2回かかった人はほとんどいないと思います。何故でしょうか？それが人間の防御力である「免疫」の働きです。この「免疫」は病気を未然に防ぐだけでなく、からだの状態を告知してくれる面も併せ持っています。本講義では、「からだの防御機能、感染から治癒、免疫検査」について分かりやすく解説します。疫から免れるからだの仕組みと信号を理解して、未病を目指しましょう！ |
| 講師 | 池上 喜久夫 | 講義番号 90 ようこそ、臨床検査の世界へ 「臨床検査」は病気の早期発見・診断・治療効果の確認に欠かせません。臨床検査は、心電図や脳波などを測定するために、直接体に触れて生体情報を収集する「生理学的検査」と血液や細胞を採取して生体情報を収集する「検体検査」に分かれます。本講義では、医療現場における「臨床検査」と臨床検査技師の活躍について分かりやすく解説します。 | |
| | 若年者に多い子宮頸がんの発生と予防 | 子宮頸がんはHPVというウイルス感染が原因で発生します。近年は20代の子宮頸がん患者が増えています。国は2004年、子宮頸がん検診の年齢を20歳に引き下げましたが、20代の受診率は依然として低いのが現状です。本講義では、実際のがん細胞を見ながら、子宮頸がんが発生する仕組みについて分かりやすく解説します。また、予防法についても紹介します。 | |
| | 寄生虫～人との不思議な関係～ | かつて日本は寄生虫蔓延国でした。中でも廻虫の感染率は高く、日本人の6割が廻虫に感染していました。しかし、先人たちの努力の甲斐あって、近年ではほとんど寄生虫の感染者がいなくなりました。その一方、小児ぜんそく、アトピー、花粉症の人はどんどん増えています。その理由は、人間の体と人間に寄生しなければ生きていけない寄生虫の不思議な関係があったからだと言われています。本講義では、そのような寄生虫の意外な一面を紹介します。 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 臨床技術学科 | 講師 | 大山 富三 | 講義番号 93 貧血ってどうやって調べるの？ 血液の中には3種類の血球があります。その中のひとつである赤血球の数や形態に異常をきたすと貧血になってしまいます。本講義では、貧血はどうやって調べるのか？など、検査と結果から分かる貧血の分類について、赤血球の機能や構造の解説を交えながら分かりやすく説明します。 |
| | | | 講義番号 94 止血とは？～出血が止まる不思議～ 怪我をすると出血することがあります。しかし、止血機構が働いて血液が凝固し、出血が止まり(=止血)ます。本講義では、「止血機構とは何か？」「なぜ血液が固まるのか？」「止血しにくい病気とは何か？」など、止血に関する様々な不思議について分かりやすく解説します。 |
| | 講師 | 浅井 孝夫 | 講義番号 95 万能細胞、白熱教室！2017 いわゆる万能細胞と言われるES細胞やiPS細胞の研究が進み、人体のあらゆる組織や器官を再生できる日が一步步近づいてきています。本講義では、今といったどこまで研究が進み、どこまで再生できるようになってきているのかを紹介し、また万能細胞を含め幹細胞を使った治療における問題点について、皆さんとの討論を交えながら分かりやすく解説します。 |
| | | | 講義番号 96 医療技術！やってみよう！ 医療現場で活躍する技術はとてハイテクなものばかりです。本講義では、皆さんがテレビで見るのが多く、実際の病院での手術や治療に使用されている技術について実演を通して紹介します。今の医療技術がどこまで進歩しているのか、もしくは進歩していないのか、皆さんの目で実際に見てみませんか？ |
| | 助教 | 高橋 良光 | 講義番号 97 心臓の手術はどうするの？ 心臓の手術をする場合には、一時的にでも心臓を止めなくてはなりません。その際には、医療機器である「人工心肺装置」が活躍します。心臓の手術をサポートする「人工心肺装置」を保守・管理・操作をする専門職が「臨床工学技士」です。本講義では、「臨床工学技士」が、操作する人工心肺の基本的な知識や、心臓の手術に関する知識、また、人の命を一時的にでも預かる人工心肺装置について分かりやすく解説します。 |
| | | | 講義番号 98 眼の神秘～不思議な3Dの世界～ ほとんどの生き物は2つの眼を持っています。馬やウサギの眼は顔の外側についていますが、ライオンやネコは人間と同様に顔の正面についています。このことは生き物の生態系と大きく関わっています。本講義では、物の遠近感・立体感を作りだしている仕組みについて、いくつかの実験を交えて分かりやすく解説します。 |
| | 医療技術学部 | 教授 | 石井 雅子 |
| 講義番号 100 スポーツビジョンの世界 瞬時的に的確な身体反応が求められるスポーツでは、感覚のほとんどを視覚(眼の機能)に頼っています。私たちが通常「視力」といっている静止視力は、実はモノの形を見極める視覚機能の一つにすぎません。本講義では、動いているモノを的確に見極める「動体視力」、ボールや選手との正確な距離感を見極める「深視力」、瞬時に情報を判断する「瞬間視」を体験してもらいます。 | | | |
| 講義番号 101 「ありがとう」がもらえる医療の仕事 医師、看護師、理学療法士、作業療法士・・・、そして視能訓練士など、医療に関係した専門職種はたくさんあります。何故、医療には多くの専門職種が関わっているのでしょうか？またその魅力は何だと思えますか？本講義では、医療系専門職種の関係性とその魅力を皆さんと一緒に考えます。キーワードは「ありがとう」です。 | | | |
| 教授 | | 前田 史篤 | 講義番号 102 視覚の不思議～いつもは見えない何かが見える～ 目のつくりは非常に緻密です。そして、あなたが見たものをリアルに見るようになるための精密な仕組みがあります。本講義では、簡単な小実験を交えながら視覚の不思議な成り立ちについて分かりやすく解説します。本講義を受けた後には、いつもは見えない何かが見えてくるかもしれません。 |
| | | | 講義番号 103 君の瞳は嘘をつかない 「目は口ほどにものを言う」とよく聞きますが、本当でしょうか？実は・・・、瞳孔(黒目)は嘘をつかない正直者で、あなたの心のリズムに合わせて変化しています。「目は心の窓」です。驚いたとき、恋をしたとき、相手の瞳を見つめ続けると真実が見えてくるかもしれません。本講義では、その心のリズムに合わせて変化する瞳孔について分かりやすく解説します。 |
| | | | 講義番号 104 光と色の不思議とその科学 私たちの身の回りには、様々な光と色があふれています。色は、物理現象としての光の性質と、人間の感覚、生理、心理が構成するものであり、様々な不思議な現象が起こります。本講義では、様々なデモンストレーションを交えて光と色の不思議な世界を紹介し、その科学的な背景を分かりやすく解説します。 |
| 助教 | | 村田 憲章 | 講義番号 105 目の構造と機能を守る視能訓練士 私たちは日常生活における情報の約8割を目(視覚)によって得ていると言われています。目が見えにくくなると、日常生活に不自由が生じることは容易に想像できると思います。本講義では、眼球の構造を学び、ふだん、どのように視覚を得ているのか分かりやすく解説します。また「視能訓練士」の仕事内容も紹介し、眼科の世界へご案内します。 |
| | 講義番号 106 iPadで眼の機能を確認しよう 本講義では、視力検査アプリや動体視力ゲームといったiPadのアプリを使って、皆さんと一緒に楽しみながら眼の検査について体験します。本講義は、iPadを実際に触って自分の眼の機能を確認するなど、体感的な講義です。また眼に関する興味深いアプリもたくさん紹介します。 | | |
| 助教 | 谷 佳子 | 講義番号 107 私たちは、本当に眼で物を見ているの？ 普段、私たちは何げなしに物を見ていると思います。見える事が当たり前で、その重要性を通常意識することはありません。しかしながら、実は見えている物は眼だけでは見ることはできません。本講義では、見える仕組みである眼の構造と脳の関係性について、錯覚(錯視)を使い楽しく説明します。 | |
| | | 講義番号 108 チーム医療の必要性・重要性を知ろう 現代における医療は、多職種の医療専門職者が協働して一人ひとりの患者様にもっとも適切な治療(医療行為)を行う「チーム医療」が根幹になっています。本講義では、外科(消化器外科)の医療(手術やその前後の治療など)が実際の現場ではどのようにして行われているかを例にとり、様々な医療専門職者の役割を理解するとともに、チーム医療の必要性・重要性について分かりやすく解説します。 | |
| 救急救命学科 | 教授 | 鈴木 力 | |

| | | | | | |
|--------|--------|---|--|---|---|
| 医療技術学部 | 救急救命学科 | 教授 | 竹井豊 | 講義番号 109 これからの救急救命士のしごと 平成3年に「救急救命士法」が施行されてから25年以上もの年月が経過しています。「救急救命士法」の施行以来、救急救命士に求められる救命処置の範囲は年々拡大していることから、救急救命士には高度な知識と技術が要求されます。本講義では、救急救命士としての現在の業務と今後期待される業務について分かりやすく解説します。 | |
| | | 講師 | 神藏貴久 | 講義番号 110 「AED」は何？ 皆さんもAED(自動体外式除細動器)の名前は耳にしたことがあると思います。一方でAEDを具体的に知っている人は少ないと思います。AEDは心臓を止めるものか？心臓を動かすものなのか？何ボルトなのか？何秒間電気が流れているのか？本講義では、そのようなAEDについて歴史やエピソードを交えながら分かりやすく解説します。 | |
| | | | 山内一 | 講義番号 111 蘇生の科学 突然、心臓が止まった人に対して、最初に目撃した人が2〜3分以内に行う行動が傷病者の救命を左右します。胸骨圧迫(心臓マッサージ)はなぜ必要なのか？なぜ胸の真ん中を押すのか？なぜ100〜120回のペースで押さなければならないのか？なぜ約5センチも押すのか？本講義では、そのような疑問を解決するために、胸骨圧迫について科学的な視点から、また歴史やエピソードを交えながら分かりやすく解説します。 | |
| | | 講師 | 大松健太郎 | 講義番号 112 救急救命士の役割と使命 本講義では、救急救命学科において取得を目指す「救急救命士」とは、どのような役割と使命を担う職種なのかを分かりやすく解説します。また、主な活躍の場となる消防機関、陸海空自衛隊、海上保安庁などで働くためにはどのような道筋をたどり、どのような働き方をするのかなどについても紹介します。 | |
| | | | 大松健太郎 | 講義番号 113 生命の授業 自然災害や交通事故などの際に、尊い大切な命を守るためにはどのようなことをしておくべきでしょうか？心肺蘇生法や応急手当の方法を説明し、シミュレーターによる体験を行います。また、本講義では、医療職の中で最も多く生命の危機に対応する「救急救命士」の知識・経験をもとに、万が一の危機的状態に遭遇したときに対応できる力についても分かりやすく解説します。 | |
| | | 助教 | 安達哲浩 | 講義番号 114 子どもの緊急事態に対する応急処置と心肺蘇生法 本講義では、窒息や重篤なアレルギーなど、子どもの生命を脅かす緊急事態の予防法や起きてしまった場合の対応方法・応急手当について分かりやすく解説します。万が一、呼吸や心臓が止まってしまった場合の人工呼吸や胸骨圧迫(心臓マッサージ)についても紹介します。本講義を通して、身の回りの子どもの生命を守れるようになります。 | |
| | 安達哲浩 | | 講義番号 115 身近なひとの命をまもる～生命にかかわる病気に気づく方法と応急処置・心肺蘇生法～ 本講義では、心筋梗塞、脳梗塞などの人の生命を脅かす重篤な病気のサインにいち早く気づき、対処する方法を分かりやすく解説します。また、万が一、呼吸や心臓が止まってしまった場合の人工呼吸や胸骨圧迫(心臓マッサージ)についても紹介します。本講義を通して、身の回りの人たちの生命を守れるようになります。 | | |
| | 健康栄養学部 | 健康栄養学科 | 教授 | 斎藤トシ子 | 講義番号 116 大勢のけが人が発生したときの医療と通常の医療との違い 災害や大事故により大勢のけが人が発生した場合と、ひとりの人がけがをした場合とでは、その考え方や対応を変える必要があります。仮に大勢のけが人が発生し、同じ量の医療資源(医療施設や医療機器、医薬品など)を使用し治療を行う場合、ひとりのけが人に対する使用割合はどうしたらいいでしょうか？本講義では、「医療」に携わる多くの専門職の医療資源の使用割合の理解の必要性について分かりやすく解説します。 |
| | | | 教授 | 宮岡洋三 | 講義番号 117 世界遺産の一つである「和食」の未来を考える 「和食」は世界無形文化遺産に登録され世界的にも注目を浴びていますが、私たち日本人は「和食」の良さをどれだけ知っているのでしょうか？本講義では、「和食」の特徴、「和食」と健康の関係などについて分かりやすく解説します。また今後「和食」を守り発展させるために私たち日本人が何をすべきかについて、一緒に考えていきましょう。 |
| | | | 教授 | 伊藤直子 | 講義番号 118 「味」を科学する 味を構成する成分にはどのような物質があるのでしょうか？その物質により刺激を受ける生体側のセンサ(味細胞)はどのような構造になっているのでしょうか？センサからの信号を受ける脳はどのような処理をするのでしょうか？本講義では、多くの食品特性から味を取り上げ、興味深い「味のあれこれ」を生理学的観点から分かりやすく解説します。人間や動物実験の結果から、味覚の生理学が提供する楽しい科学の世界を一緒に覗いてみましょう。 |
| | | | 教授 | 遠藤和男 | 講義番号 119 乳化とは？ 本講義では、高校の化学で学ぶ「乳化」という現象が、食品製造や体の中で重要な働きをしていることについて説明します。また、食品製造についてマヨネーズを例にあげ、油と酢が卵に含まれるリン脂質によって乳化されることも解説します。さらに、体の中では食物に含まれる油を消化するために胆汁酸が分泌され、それによって油が乳化されることについても解説します。 |
| | | | 教授 | 遠藤和男 | 講義番号 120 職業病と公害病の違い 従来は「職業病」と考えられていた病気でも、汚染物質の拡散などによって特定の職業だけでなく地域社会にまで被害がおよぶ場合には、「公害病」として周知されます。新潟県では第二水俣病(新潟水俣病)が「公害病」として広く知られています。また、石綿(アスベスト)による肺がんや中皮腫についても、従業員とともに一般住民にまで被害がおよび、平成18年から健康被害救済給付が開始されました。本講義では、「職業病」と「公害病」の違いについて分かりやすく解説します。 |
| 永井徹 | | | | 講義番号 121 生活習慣病とメタボリック症候群の違い 以前、生活習慣病は「成人病」と呼ばれていました。メタボリック症候群対策のために平成20年度から始まった特定健康診断は、「メタボ健診」とも呼ばれています。生活習慣病の一つである「がん」は、メタボ健診においては別立てとなっているものの、生活習慣病とメタボリック症候群の概念は酷似しています。しかし、日本のメタボリック症候群の基準はWHOなどとは異なります。本講義では、両者の違いや基本的な概念について分かりやすく解説します。 | |
| 教授 | 永井徹 | 講義番号 122 医療現場で働く管理栄養士とは 近年、高齢化などの影響により栄養管理の重要性が広く認識されています。病院管理栄養士の役割は、適切な栄養管理を行い、あらゆる角度から患者様の病状改善に寄与することです。「食べることは生きること」であり、管理栄養士は患者様の生命を支える重要な仕事です。本講義では、長い期間、病院管理栄養士として勤務した経験談を交えながら、医療現場での管理栄養士の仕事について紹介します。 | | | |
| 准教授 | 稲葉洋美 | 講義番号 123 「食事が大切である」ことは知っているけど・・・ スポーツをする上で、「栄養(食事)」「休養」は、練習の基礎となる非常に重要な要因です。練習中に集中を切らさず怪我をしないようにするためにも、ふだんからの「栄養(食事)」は大切です。しかし、「食事が大切である」ことは分かっているけど、何をどうすればいいのかまで知っている方は少ないと思います。そこで本講義では、「何故、食事が重要なのか」「具体的にどうしたらいいのか」を分かりやすく解説します。 | | | |
| | 稲葉洋美 | 講義番号 124 過剰なダイエットを考え直そう 日本は経済的に豊かな国にもかかわらず、痩せの比率が高い稀な国です。特に、若年女子の痩せの問題は深刻になりつつあります。痩せの母親から誕生する子どもは将来、生活習慣病に罹患するリスクが高いことが知られています。また、痩せに伴い月経が長期間止まると骨量は低値で推移し、骨粗しょう症になるリスクも高くなります。痩せであることが自分のみならず、次世代の健康にも影響するため、本講義を通して、過剰なダイエット志向を考え直して欲しいと思います。 | | | |

| | | | | |
|--------|-------|-------|---|---|
| 健康栄養学科 | 准教授 | 澁谷 顕一 | 講義番号 125 世界と戦うための強化戦略～ボート競技日本代表チーム～ これまで世界選手権優勝やワールドカップ優勝などの実績を持ちながらも、オリンピックでのメダル獲得がない競技に「ボート競技」があります。本講義では、「ボート競技」が今後どのような戦略を持って世界と戦っていくのかを紹介します。また、世界と戦うためのスポーツ科学について分かりやすく解説します。 | |
| | | | 講義番号 126 疲労と戦う脳 人は運動をすると疲労します。その疲労は生命体を守るための必要な仕組みです。しかし、持続的な運動はこの疲労との戦いです。本講義では、脳が疲労と戦うためにどのような戦略を立てているのか、どうすれば疲労を克服できるのかということについて分かりやすく解説します。 | |
| | 講師 | 岩森 大 | 講義番号 127 スポーツとエネルギーの関わり 本講義では、スポーツを行う上での栄養素の役割、食事のタイミング、水分補給のポイント、疲労や怪我の際の注意点などについて、実際のスポーツ選手(アルビレックス新潟や新潟アルビレックスランニングクラブなど)の食事例の紹介を交えながら分かりやすく解説します。特にエネルギー源となる糖質、たん白質の働きを生理学的観点と栄養学的観点から説明します。 | |
| | | | 講義番号 128 入門・生理学 「生きている」とは、どのような状態のことを指すのでしょうか？そんな問題提起を出発点として、本講義では、細胞機能や心臓機能および血液循環、呼吸機能、消化・吸収機能、内分泌機能など、人のからだの仕組み(生理学)について、生命維持の観点から分かりやすく解説します。 | |
| | 講師 | 山崎 貴子 | 講義番号 129 食の化学を楽しく学んでみよう 食べ物の味、色、匂い、食感や栄養素の消化吸収。これらには化学が密接に関係しています。本講義では、ふだん何気なく感じている食べ物の「美味しさ」や「栄養」にどのように化学が関わっているのか、実際に大学で行っている授業や取り組んでいる研究内容の一部を紹介しながら説明します。 | |
| | | | 講義番号 130 循環の生理学を一緒に考えてみよう 医療系の大学や職場では、生理学の知識が必須です。例えば、血流は心臓の拍動だけで生じる訳ではありません。では、心臓以外のどのような機能によって血流は生じるのでしょうか？本講義では、組織や細胞へ過不足なく血液を送り続ける心臓と循環の生理機能について分かりやすく解説します。 | |
| | 助教 | 川上 心也 | 講義番号 131 動物発生 ～生殖細胞の成長、受精から発生まで～ 人間の場合、たった1個の受精卵が60兆個もの細胞に分裂し、様々な組織へと分化していきます。カラダのすべてのもととなる受精卵や初期胚には、多くの秘密が隠されています。本講義では、動物の生殖細胞の成長と受精に至るまでの変化、受精のメカニズム、さらに受精後の初期発生について分かりやすく解説します。 | |
| | | | 講義番号 132 スポーツとプロフェッショナル スポーツにおけるアスリート、コーチ、スポーツ用品を作る人などは、プロフェッショナルとしての「職人技」を持っています。本講義では、なぜイチロー選手はバックホームのランナーをアウトにできるのか？Jリーグの監督はベンチで何を考えているのか？優秀なアスリートは優秀なコーチになれるのか？といった内容などについて分かりやすく解説します。スポーツのプロフェッショナルについて一緒に考えましょう。 | |
| | 健康科学部 | 教授 | 西原 康行 | 講義番号 133 スポーツと現代社会 社会が変わればスポーツ環境も変わってきます。20年前には、まさか日本にJリーグができて、サッカーがこんなに盛んになるとは誰も想像していませんでした。これからのスポーツ環境は、学校体育や部活動だけにとどまらず、新しいスポーツ環境にまで広がってきています。本講義では、このような現代と近未来のスポーツ環境について分かりやすく解説します。 |
| | | | | 講義番号 134 スポーツによる怪我と痛み スポーツでは、1回の怪我や毎日の練習の繰り返しにより身体の様々な部分に痛みが生じます。これらの痛みには、スポーツ種目や性別、身体の高さ、身体の動かし方で特徴があります。本講義では、スポーツによって生じる様々な痛みの内容やメカニズムを知り、高校生の皆さんにもできる「痛みが出た時の対処法」や「痛みが出ないようにする予防法」について学びます。 |
| 教授 | | 下山 好充 | 講義番号 135 スポーツコーチング理論 本講義では、スポーツコーチング理論について説明します。現場で実際に行われている具体的な指導方法やトレーニング方法について、競技力向上に向けた環境づくりや科学的なサポートシステムなどの紹介を交えながら説明します。さらに、スポーツ指導者としての役割やより良いミーティングの方法などについて解説します。 | |
| | | | 講義番号 136 スポーツ場面での「あがり」は、なぜパフォーマンスを低下させるのか？ スポーツでは、「緊張して力が出せなかった」という言葉をよく耳にします。なぜ、過度に緊張すると競技パフォーマンスが低下してしまうのでしょうか？トップアスリートは、この緊張をどのようにコントロールしているのでしょうか？本講義では、スポーツ場面で実力を最大限に発揮するために必要な心理学的知識や技法などについて分かりやすく紹介・解説します。 | |
| 教授 | | 山崎 史恵 | 講義番号 137 スポーツ場面における「集中力」の基礎トレーニング スポーツ場面で求められる集中力には幾つかの種類があり、種目特性や課題の難易度によってそれぞれの重要性が異なります。本講義では、スポーツに必要な「集中力」について理解を深めると同時に、集中力を高める基礎トレーニングや集中を阻害する要因などについて、実習を交えながら分かりやすく解説します。 | |
| | | | 講義番号 138 スポーツ指導場面における言語教示の強調効果 スポーツでの運動技能は、スピード・正確性・フォーム(効率)など、幾つかの要素から構成されています。例えば、野球のピッチャーなどのスピードと正確性(コントロール)がどちらも要求されるような運動技能の学習では、そのどちらを強調して指導したら良いのでしょうか？本講義では、運動技能の習得による効果的な言語教示(声かけ)について、簡単な実験を交えながら分かりやすく解説します。 | |
| 教授 | | 佐藤 敏郎 | 講義番号 139 「健康運動指導士」ってどのようなことをするの？ 健康運動指導士は、安全で効果的な運動を実施するための運動プログラムの作成を行い、生活習慣病の予防や健康の維持・増進に大きく貢献しています。また、フィットネスクラブをはじめとした健康増進施設や医療機関、介護施設など幅広いフィールドで活躍しています。本講義では、本学が養成校に認定されていることから、資格の説明とカリキュラム内容および実際の健康運動指導士としての仕事の内容について紹介します。 | |
| | | | 講義番号 140 「心臓」の仕組み 「心臓」は全身に血液を運ぶポンプであり、一瞬でも休むことなく拍動し続ける不思議な臓器です。生まれてから死ぬまで一生動き続け、全身に効率よく血液を送るための非常に巧みな仕組みがそこにはあります。本講義を通して、「心臓」の素晴らしさ、さらには「生命」の素晴らしさを感じてみませんか？ | |

| | | |
|-----|------|--|
| 教授 | 丸山敦夫 | 講義番号 141 スポーツを科学する オリンピックや国際大会は、スポーツ科学の戦いであるとも言われています。スポーツを科学するとはどういうことでしょうか？本講義では、スポーツ科学に必要な基礎学力についての説明を交えながら、高い身体能力や技能を必要とするスポーツ選手の能力を向上させるために生理学、心理学、バイオメカニクスなどの学問がどのように活用されているのかを分かりやすく解説します。 |
| | | 講義番号 142 スポーツと脳の不思議な関係 人間の脳は身体を支配しています。また、脳は歩く、走る、ボールを投げる、ボールを打つ、相手から逃げるなどの日常生活からスポーツや運動まで、すべての動作をコントロール(支配)しています。本講義では、スポーツや運動と人間の脳との関係について分かりやすく解説します。 |
| 教授 | 森光雄 | 講義番号 143 保健体育の先生になるには 中学校や高校の体育教師に憧れ、将来は体育の先生になりたいと思っている中・高校生は少なくないのではないでしょうか？では、体育教師になるにはどんな資質や能力が必要でしょうか？またそれを高めるには何をしたら良いのでしょうか？本講義では、38年間中学校現場と教育委員会で体育教師や指導主事、校長として仕事をしてきた経験をもとに、そもそも体育教師にはどんな仕事があり、何にやりがいを感じているのかなど、分かりやすく説明します。 |
| 教授 | 若杉透 | 講義番号 144 本学で取得できる(公財)日本サッカー協会公認C級サッカーコーチについて 本学では、2009年から日本サッカー協会・日本体育協会公認C級サッカーコーチ養成講習会を開催し、これまで128名の学生がC級コーチ資格を取得しています。また、大学卒業後B級・A級を取得し全国各地で指導者として活動している卒業生が多くいます。本講義では、C級コーチの内容、指導者の役割、指導者の資質について分かりやすく解説します。 |
| | | 講義番号 145 指導者の役割 本講義では、スポーツ指導者の役割について分かりやすく説明します。指導者とは、選手や子供の夢を叶えてあげるサポート役でなければなりません。対象者を第一に考え、楽しく、解りやすく、親切・丁寧に指導するマインドを学びます。また、指導者と対象者がともに笑顔で楽しく、質の高いトレーニングを行う方法について分かりやすく解説します。 |
| | | 講義番号 146 ジュニア育成と指導 本講義では、アルビレックス新潟の育成統括を実践した経験から、ジュニア選手の育成について解説します。ドイツ・ブラジル・アルゼンチン・スペイン・日本等の具体的な事例を提示し、12歳までの間に基本的な技術や個人戦術をマスターすることの必要性、将来活躍できる基盤構築の重要性を分かりやすく解説します。 |
| 教授 | 森泉哲也 | 講義番号 147 学校教育の「食育」の授業で何を学んできたのか 「食育」という言葉を知っていますか？意味まで説明できる人は少ないと思いますが、ほとんどの人は聞いたことがあるはずですが、なぜかという、小中学校には「食育」の授業があったからです。では、「食育」の授業で何を学びましたか？そして、その学びは今の生活の中で、どのように活かされているのでしょうか？本講義では、「食育」についての認識を深めてもらうために、栄養学に偏りがちな「食育」についてあらためて問い直し、分かりやすく解説します。 |
| 教授 | 佐藤和也 | 講義番号 148 勝つための動きづくり 野球の体づくり・動きづくり「コーディネーション」のドリル(反復練習)によって野球の動作は格段にうまくなります。本講義では、野球だけではなく、すべてのスポーツの基本となるベーシックな「コーディネーション」について、皆さんの部活動における戦績向上の一助となるよう、分かりやすく解説します。 |
| 准教授 | 色摩正雄 | 講義番号 149 スポーツの魅力と問題点 汗をかき、つらい思いもする、時には怪我をすることもあるスポーツ活動。好きな人だけではなく、嫌いな人もたくさんいると思います。本講義では、視覚に障がいを抱えた若者たちが取り組んでいる「野球」の映像をもとに、あらためてスポーツの魅力(面白さ)や問題について皆さんと一緒に考えます。 |
| 准教授 | 泉田俊幸 | 講義番号 150 陸上競技の歴史と速く走るための秘訣 本講義では、「走る」「跳ぶ」「投げる」という人間の基本的能力を競う陸上競技がいつ頃からどのような形で行われていたのかについて、古代オリンピックから現代に至るまでの変遷を紹介していきたいです。また、短距離走や長距離走を対象に、人が速く走るための秘訣を考えていきたいです。 |
| 准教授 | 加藤雅規 | 講義番号 151 熟達指導者から分析できる「コーチング」 本講義では、高校女子バスケットボール界、全国制覇59回という偉業を達成し、今なお現役コーチとして活躍する70歳の指導者を研究した記録を紹介し、熟達指導者のコーチングには経験から培われた育成術が存在します。また、この指導者のコーチング分析をテーマに、「コーチング」とは何か、トップアスリートを育成し勝利に導く「コーチング」とは何かを解説します。 |
| 准教授 | 秋山隆之 | 講義番号 152 オシムの指導観 W杯南アフリカ大会のアジア3次予選を控える中、急性脳梗塞により倒れ、惜しまれつつも日本代表監督を退任することとなったイビチャ・オシム氏。欧州での確かな実績を持つ彼のトレーニング方法はモダン且つ斬新的であり、選手や指導者を魅了しました。ピプスを何色も使う「ヴィジュアル・トレーニング」は後に有名となりますが、そのトレーニングには日本選手への重要なメッセージが込められていました…。本講義では、イビチャ・オシム氏の指導方法や指導観について詳しく解説します。 |
| 准教授 | 越中敬一 | 講義番号 153 筋肉の生物学 筋肉は、筋収縮による機械的刺激や栄養素などに対して反応し、力強さや持久力を獲得する一方で、萎縮したり疲れやすくなったりします。これらの反応は細胞中に含まれている様々な分子の働きによって行われており、分子を上手にコントロールする方法はアスリートのためのトレーニング法や食事法などにも応用されています。本講義では、主に運動生理学の分野における筋肉の巧みな営みを生物学の視点から学びます。 |
| 准教授 | 佐近慎平 | 講義番号 154 こどもと体育 本講義では、こどもの発育発達への体育の役割を紹介し、特に幼児期の主体的身体活動の重要性、多様な基本運動動作の体験とそれを磨き上げるための環境設定のあり方について説明します。また、障害のあるこどもへのレクリエーション療法(セラピューティックレクリエーション)についても解説します。 |
| 准教授 | 吉田重和 | 講義番号 155 日本教育と世界の教育 日本の教育や学校は、世界各地のそれらとどう違うのでしょうか？世界各地の教育や学校について学ぶことで教育全般に関する視野が広がり、日本の教育や学校についてより深くまで理解することができます。将来、教職を目指している人はもちろん、それ以外の人も、本講義を通して「教育」という人類共通の営みについて考えてみましょう。 |
| | | 講義番号 156 子どもの学力は低下しているのか？ 「ゆとり世代＝学校教育の内容が削られた結果、身についた学力が低い世代」という社会認識があります。しかし、はたしてそれは本当でしょうか。また、そもそも学力とはいったい何なのでしょう。本講義では、学力に関する私たちの認識を踏まえたうえで、過去の高校入試問題や国際学力調査の内容などを紹介しながら、学力低下問題について一緒に考えます。 |

| | | |
|-----|-------|--|
| 准教授 | 杉崎弘周 | 講義番号 157 公衆衛生学とは？ 本講義では、高校で学んでいる科目「保健」のもとになっている公衆衛生学について分かりやすく解説します。また、高校で習う保健の単元である「現代社会と健康」、「生涯を通じる健康」、「社会生活と健康」のそれぞれに関連するトピックと新たな健康課題などについても紹介します。さらに、簡単に行える健康セルフチェックも行います。 |
| 准教授 | 佐藤大輔 | 講義番号 158 “水”の中に入ると、脳はどのような働きをするのだろうか？ 私たちの生活において欠かせない物質である“水”。顔や身体を洗ったり、お風呂に入ったり、飲んだり、私たちの生活の様々な場面において“水”は活躍しています。本講義では、そんな“水”が私たちの身体や脳にどのような働きをするのか、各種のデータに基づいて紹介します。 |
| 講師 | 埴佐敏 | 講義番号 159 子どもの体力は向上した！？ 子どもの体力が近年向上傾向にあると言われていています。これは大変喜ばしいことですが、本当でしょうか？筋力や持久力、投力はどのようになっているのでしょうか？本講義では、体力テスト結果の推移から子どもの体力の現状について解説します。また、運動習慣や生活習慣と体力との関係や運動実施者と非実施者として1日の身体活動量がどの位違うのかについても紹介します。便利な世の中が、大人世代を含め子どもたちの体力にどのような影響を与えたのかを一緒に考えてみましょう。 |
| | | 講義番号 160 “動ける身体づくり”を目指した子どもの「コーディネーション運動」 “子どもは大人のミニチュアではない”と言われていています。しかし、時としてスポーツ指導の場面では、大人と同じような指導法が用いられていることがあります。子どもにとって大切なことは、「動ける身体づくり」を目指すことです。そのためには、どのようなことに留意し、どのように指導すれば良いのでしょうか？本講義では、「動ける身体づくり」の指導法として注目されている「コーディネーション運動」の概略を学びながら、子どもの運動指導法について考えます。 |
| 講師 | 遠山孝司 | 講義番号 161 教育心理学の観点からみる勉強と記憶 大学で学ぶ教育心理学では、「学習」や「記憶」についても扱います。大学での授業時にこのトピックについて話をすると、学生から「大学入試前に知っておきたかった」という感想が多く出ます。本講義では、上手な学習方法や記憶方法について分かりやすく解説します。本講義を通して、大学の講義の雰囲気をつかんでもらおうとともに、今後の生活に役立ててもらいたいと考えます。 |
| | | 講義番号 162 ストレスと欲求不満と幸福感 ストレスや欲求不満は、悪いものであるかのように考えられることが多いものです。しかし、人間の幸福感や満足感には、ストレスや欲求不満がプラスに働くことがあります。それはどのような時なのでしょう？本講義では、幸福感やQOL、ストレスや欲求不満の関係を心理学的に解説します。本講義を通して、大学の講義の雰囲気をつかんでもらおうとともに、今後の生活に役立ててもらいたいと考えます。 |
| | | 講義番号 163 心理学的に説明する中学生、高校生の友人関係 大学で学ぶ心理学の中には、人間関係について扱う「社会心理学」という分野があります。本講義では、この「社会心理学」という分野で扱われている様々なトピックの中から、高校生や中学生が興味を持ちやすい青年期の友人関係について紹介します。本講義を通して、大学の講義の雰囲気をつかんでもらいたいと考えています。 |
| 講師 | 市川浩 | 講義番号 164 ヒトの動きを撮る・観る・測る スポーツで難しい技に挑戦したり、上手な人を真似たりするときに、最近では当たり前のようにビデオ撮影によるフォームのチェックが行われています。本講義では、最新テクノロジーの応用からスマートフォンによるお手軽なものまで、スポーツ上達のための映像活用法について紹介します。 |
| 講師 | 池田祐介 | 講義番号 165 トレーニング科学の最前線 近年、スポーツ選手を分析対象とした研究から、これまで誰もが正しいと信じて疑わなかった理論が覆され、競技パフォーマンス向上に関する新たなアイデアや体カトレーニングに関する新しい理論が生み出されています。本講義では、スポーツ生理学やスポーツバイオメカニクスの研究から得られた知見が、どのようにトレーニングに活用されるのか分かりやすく解説します。 |
| 講師 | 佐藤晶子 | 講義番号 166 競技者の栄養・食事の基本 競技者は一般の人と比べて多くのエネルギーや栄養素を必要とし、それぞれの競技に合わせた身体づくりが求められます。そのため栄養や食事の取り組みが非常に重要ですが、それはあくまでも基本的な食事を実行できてこそ成り立つものです。本講義では、基本的な食事のかたちと、競技者として身につけるべき食習慣について紹介します。 |
| 講師 | 武田丈太郎 | 講義番号 167 プロスポーツの舞台裏 グローバル社会の現代において、プロスポーツも世界的な展開が行われています。それに伴い日本人選手が海外で活躍することが増えてきましたが、そのような選手の活躍の裏には多くの人たちの“支え”があります。本講義では、サッカーと野球を中心に、その舞台裏を支えている代理人やトレーナーなどの活動について分かりやすく解説します。 |
| 講師 | 山代幸哉 | 講義番号 168 運動は脳に効く？ゲームは脳に悪い？ホントは？ 近年、脳科学が飛躍的に進歩し、脳の働きが詳細に分かってきています。「脳トレ」や「運動」が脳に与える影響に関しても、様々な研究で明らかになってきています。しかし、まだまだ議論が多いことも事実です。本講義では、「脳トレ」、「運動」、「ゲーム」が脳に与える影響について解説し、「脳のホント」について皆さんと一緒に考えます。 |
| | | 講義番号 169 ウサイン・ボルト選手の速さの秘密 ウサイン・ボルト選手によって短距離の世界記録は次々と塗り替えられています。最近では、ボルト選手のみならずジャマイカ勢の台頭が非常に目立ち、かつての陸上王国アメリカは大きく水をあげられています。その強さ(速さ)の裏には、いったい何があるのでしょうか？本講義では、科学的な分析を含めながら、どのようにしたら「自分」が速く走れるのかを高校生にも分かりやすく解説します。 |
| 講師 | 吉松梓 | 講義番号 170 「プロジェクトアドベンチャー」でチームビルディング 「プロジェクトアドベンチャー」とは、大自然でのアドベンチャーを学校教育に適用する試みからスタートしたもので、チャレンジ、チームワーク、目標設定、課題解決、自己の気づきなどをキーワードに、豊かな人間性を育むことを目的としたプログラムです。現在では、その優れた効果により、学校教育にとどまらず地域づくりやスポーツチームの研修など、多くの分野で実施されています。本講義では、「プロジェクトアドベンチャー」について実際に体験しながら分かりやすく解説します。 |
| 講師 | 熊崎昌 | 講義番号 171 アスレティックトレーナー(トレーナー)とは？ 近年スポーツの現場で「トレーナー」と呼ばれる職業が注目されています。学生スポーツやプロスポーツなど様々な環境のアスリートをサポートする立場として、アスレティックトレーナー(トレーナー)は仕事をしています。しかし、実際に「どんなことをしているのか？」「どんな資格があるのか？」「どうすればなるのか？」といったことは知られていないことも多いと思います。本講義では、アスレティックトレーナーと呼ばれる仕事の特徴や実際の活動内容、さらには実例を、スポーツ現場での経験を踏まえて紹介します。 |
| | | 講義番号 172 脳しんどうって何ですか？ スポーツにおける頭部の怪我として、「脳しんどう」という言葉が広く知られています。しかしながら、皆さんが「脳しんどう」と思っているものは、実は間違っているかもしれません。「脳しんどう」は決して格闘技やラグビーのような激しくぶつかるスポーツだけの問題ではなく、どのようなスポーツにおいても身近に潜んでいる問題です。本講義では、「脳しんどう」という怪我を分かりやすく解説するとともに、実際に「脳しんどう」になった場合の対処の方法も紹介します。 |

| | | | | |
|-------|----------|--|---|---|
| 健康科学部 | 健康スポーツ学科 | 講師 | 熊崎 昌 | 講義番号 173 怪我からのスポーツ復帰にむけて スポーツで怪我をした時、皆さんはどんなことをしていますか？ただ練習を休むだけでは、その時は痛みが消えても、動き始めてまた痛めてしまうといったことが多く見られます。怪我からスポーツにより良い状態で復帰するためには、ただ休むだけではなく積極的な運動による改善(アスレティックリハビリテーション)も必要になります。本講義では、アスレティックトレーナーの立場からスポーツ競技への復帰に向けたポイントを紹介しします。 |
| | | 講師 | 小林 志郎 | 講義番号 174 目標の「見つけ方」・「取り組み方」とは 生きていくうえで目標を持つことは大切です。本講義では、競技スポーツにこだわらず、目標の「見つけ方」さらには「取り組み方」について分かりやすく解説します。これまで陸上競技の実業団選手として競技を行ってきた自身の取り組みや、経験、反省なども踏まえながら紹介しします。 |
| | | 助教 | 輪瀬 亮一 | 講義番号 175 部活動とスポーツ教育 好きな部活動を自ら選び、仲間とともに汗を流しながら競技を楽しむことは素晴らしい経験になります。そこから得られることも想像以上に多いことでしょう。しかし、大切なことは、競技を引退した後の世界でもその経験を活かし、社会に貢献できる人材に成長していくことです。そこまでやりきって初めて、真のスポーツマンと呼べるのではないのでしょうか？部活動を頑張る皆さんに、本講義を通して、そのような価値観に触れてもらいたいと思います。 |
| | | 助教 | 下門 洋文 | 講義番号 176 体力について考えよう 皆さんの中で今まで体力テストをしたことがある人は、自分の結果をみた時どのように感じたでしょうか？時には自分の体力が全国平均値よりも高い場合も低い場合もあると思います。そんな中、そもそも体力は必要なの？と考えたことはありませんか？本講義では、体力の意義や体力測定の実用性、健康づくりから競技スポーツを含めた体力向上の理論について分かりやすく解説します。 |
| | | 助教 | 佐藤 裕紀 | 講義番号 177 北欧デンマークの社会と教育～幸福度世界一の国の秘密～ 人口約560万人の北欧の小さな国デンマークは、近年、様々な国際調査で幸福度が世界一であると注目されています。本講義では、日本とは大きく異なる非常にユニークなデンマークの社会の仕組みや、見たことのないような学校などを写真などのメディアを活用して紹介しします。デンマークの社会・文化・教育に触れて視野を広げていく中で、日本の社会や教育・学校についてより深く理解しましょう。 |
| | | | | 講義番号 178 「あそびのまち」で若者や子どもが地域・社会を変えていく～「ミニ・ミュンヘン」「子ども記者クラブ」の取り組みから～ ドイツのミュンヘンでは、2年に一度、子どもによって運営される街「ミニ・ミュンヘン」が誕生します。この街では、子どもたちが様々な仕事や大学での学習を通して独自の通貨を集め、街の中で使用します。市長選挙があったり、デモやストライキもあつたりします。本講義では、この壮大な「あそびのまち」の取り組みと日本での展開について紹介しします。若者や子どもが地域づくりに参加する意味について一緒に考えてみましょう。 |
| | | 助教 | 馬場 康博 | 講義番号 179 泳ぎやすくなる補強 水泳は、浮いた状態で水平姿勢に浮かび進行方向に進みます。水泳独特の不安定な環境でのパフォーマンスを発揮するにはどうすれば良いのでしょうか？本講義では、本学水泳部で取り組む準備運動やトレーニングについて、コーチング分野からの観点で解説します。 |
| | | 助教 | 若井 由梨 | 講義番号 180 人はなぜ踊るのか？～ダンスの起源と魅力～ 皆さんは「ダンス」と聞くと何をイメージするでしょうか？「言葉が生まれる前から存在していた」とされる世界最古の文化、それがダンスです。世界には私たちの想像を遥かに超える数多くのダンスが人々に親しまれています。そもそも、人はなぜ踊るのでしょうか？本講義では、ダンスの歴史を紹介し、多様なダンスの映像や実習を通して楽しみながら、ダンスに魅了される理由を解説します。 |
| | | 助教 | 中島 郁子 | 講義番号 181 スポーツカウンセリングの可能性 ～メンタルトレーニングと比較して～ 「スポーツ」と「こころ」は、様々な場面で深く関わってきます。近年、競技現場への心理サポートの形は多様になってきています。たとえば「スポーツカウンセリング」と「メンタルトレーニング」の違いって、皆さんは区別できるでしょうか？実はこの二つ、アプローチもスタンスも全く異なるのです！「こころ」のことに取り組むとき、その先にどのような可能性を開拓できるのでしょうか？本講義では、特に「スポーツカウンセリング」について、「メンタルトレーニング」と比較しながら体験的に解説します。 |
| | | 助教 | 高田 大輔 | 講義番号 182 相手に分かりやすく伝えるためには～スポーツ教育学・体育科教育学の観点から～ 相手に言いたいことを分かりやすく伝える時、その対象者によって話し方や用いる資料が異なると思います。例えば、大人には伝えられることでも、子どもに同じ内容を同じ方法で伝えようとしても、必ずしも伝わるとは限りません。本講義では、私が専門とするスポーツ教育学、体育科教育学において、相手に言いたいことを分かりやすく伝えるために、どのような工夫をしているかということについて紹介しします。 |
| 助教 | 山本 悦史 | 講義番号 183 スポーツビジネスの可能性～オリンピック、プロスポーツを題材に～ オリンピックやワールドカップ、そしてプロスポーツの世界。華やかな舞台の裏側には、人々を魅了するためのたくさんの創意工夫や努力があります。オリンピックを開催するために必要なおカネはどのようにして集められているの？！プロスポーツのリーグでは観客を楽しませるためにどのような工夫を行っているの？！スポーツを「シゴト」にするってどういうこと？！本講義では、「スポーツビジネス」をキーワードにししながら、スポーツイベントの最前線で展開されている様々な取り組みについて紹介しします。 | | |
| 助教 | 小野 まどか | 講義番号 184 PISA（2015年実施）の結果から見る日本と諸外国の教育動向 日本の教育をより良くするにはどのような取り組みを取り入れるべきでしょうか？本講義では、2015年に実施された「OECD生徒の学習到達度調査」(PISA)の結果をもとに、日本や諸外国における教育がどのように評価されているのかを分かりやすく解説します。また得点が上位にある国を中心に、なぜ高得点が出せたのかという教育動向を見ていきます。日本の教育にいま求められている取り組みは何か、一緒に考えてみましょう。 | | |
| 看護学科 | 教授 | 塚本 康子 | 講義番号 185 胎児の世界 胎児は、受精卵として発生してから生まれてくるまで、とてつもない成長・発達を遂げます。近年、その成長・発達には、順序性があることが分かってきました。本講義では、「胎児がお母さんの子宮の中でどのように成長していくのか」また、「成長につれてどのように能力を育てていくのか」について分かりやすく解説します。 | |
| | 教授 | 中山 和美 | 講義番号 186 母子と家族の健康増進を目指して ～新生児（赤ちゃん）の生理と看護～ 本講義の目的は、「新生児（赤ちゃん）」を知り、看護師の役割を考えることです。大学生がどのような授業を受けているのかを体感してもらうため、スライドでは専門用語を使用しますが、分かりやすく解説します。新生児（赤ちゃん）の生理を踏まえた看護のポイントを学ぶとともに、新生児（赤ちゃん）の抱っこやオムツ交換など、体験の時間も設けます。 | |
| | 教授 | 佐藤 信枝 | 講義番号 187 看護はどのような道りを経てきたのだろうか？ 看護の歴史を知ることは、現在の看護を理解するうえで最も分かりやすい方法です。皆さんは、昔読んだ世界偉人伝のナイチンゲールを覚えていますか？看護は、古くは紀元前から始まっています。本講義では、看護の始まりから、看護が大きく変わったとされる第二次世界大戦後、明治・大正・昭和・現代の看護について紹介しします。歴史的背景を踏まえながら、現代の看護と一緒に考えていきましょう。 | |
| | 教授 | 小山 歌子 | 講義番号 188 健康づくりと住民主体の地区組織活動 今、あなたの心と身体は健康ですか？健康づくりにはセルフケア能力の向上と健康づくりをしやすい環境に改善することが重要です。そのため、社会全体で健康づくりに取り組むことが必要であり、欠かせない手段として健康問題に取り組む住民の地区組織活動があります。本講義では、ヘルスプロモーションの理念、地区組織活動の意義や実態について分かりやすく解説します。健康づくりについて一緒に考えてみませんか？ | |

| | | | |
|--|-------|--|--|
| 健康科学部 看護学科 | 教授 | 松井由美子 | 講義番号 189 小児看護におけるチームアプローチ 発達障害・児童虐待・小児救急を訪れる子どもとその家族の増加など、現在の小児医療の現場では数多くの困難な課題を抱え、医師・看護師だけではなく多職種で構成されたチームでのアプローチが不可欠となっています。本講義では、児童虐待について取り上げ、どのような職種がどのように連携し、虐待を受けた子どもたちを支援しているのかについて分かりやすく解説します。また、児童虐待予防の取り組みについても解説します。 |
| | 教授 | 増田明美 | 講義番号 190 生活習慣改善術 皆さんの生活習慣は健康的でしょうか？本講義では、LAC法(生活分析的カウンセリング法)を用いて、自分の生活を自分で振り返ってもらいます。振り返る際に、Life-Line(人生線)を使用し、自分が「今、何をなすべきか」が見えてきます。具体的に達成したいことをラベルに書き、その作業を通してやりたいことや健康的な生活習慣が具体的に実行しやすくなります。皆さんも一緒に体験してみましょう。 |
| | 教授 | 平山恵美子 | 講義番号 191 こころの健康 ～ストレスって何？どう対処する？～ 現代はストレスの多い時代といわれています。ストレスは悪者のように言われますが、実は私たちの身体に備わる自己防衛機能のひとつで、重要な出来事や恐ろしい出来事に遭遇した時に、私たちをもうひと頑張りさせてくれる力を持っています。しかし過度なストレスは、心身に様々な健康障害をもたらします。本講義では、ストレス反応の過程について分かりやすく解説します。さらに、皆さんにもストレスチェックを行ってもらい、自己のストレス度を把握した後ストレス解消法について紹介します。 |
| | 准教授 | 西川薫 | 講義番号 192 こころを守る仕組み 人には「自分のこころを守るために無意識に働く仕組み」があります。本講義では、その仕組みを説明するために「偏見」を例に考えてみます。一般的に「偏見」は持つてはいけないものとされていますが、実は、自分のこころを守るために必要なものでもあります。さらに、人が死を受け入れるまでの過程で無意識に働く「こころを守る仕組み」について一緒に考えます。 |
| | 准教授 | 宇田優子 | 講義番号 193 災害時の看護を知ろう 日本は、地震や洪水などの自然災害が多い国です。本講義では、このような災害が発生した時に人々の命を助けるために看護職がどのような活動をしているのかについて、写真やDVDを使用して分かりやすく解説します。さらに、災害に備えて私たちが準備すべきことについて一緒に考えてみましょう。 |
| | 准教授 | 北島昌樹 | 講義番号 194 ケアリングとは？～命を通して～ がん看護専門看護師として医療施設における緩和ケアチームやがん相談支援部門に携わった経験の中で、患者様へのケア提供の際に実は自身も患者様からもケアを受けていたことに気づかされたことがありました。本講義では、そのような「気づき」を日々の暮らしの中で実体験できることを紹介します。さらに、がんについての正しい知識についても分かりやすく解説します。 |
| | 講師 | 石塚敏子 | 講義番号 195 看護の役割と意義、そのために WHOは、「健康とは完全に肉体的、精神的および社会的安寧の状態であり、単に疾病または病弱でないということではない」と定義し、疾病も健康の連続と考えています。健康の維持・増進に関わる職業として、看護職のはたす役割は非常に大きく、活躍の場も多岐にわたります。そのための学習は決して楽ではありませんが、一生の仕事として看護職は非常にやりがいのある職業です。本講義では、看護職の仕事やその魅力について解説します。 |
| | 講師 | 杉本洋 | 講義番号 196 健康を守る「保健師」の仕事について 母子が抱える育児不安や虐待の問題、精神疾患を抱える人々やその家族が抱える問題など、複雑な問題の実態とそうした状況に携わる仕事をしている看護職があります。本講義では、主に市町村などの行政における母子や高齢者の支援、生活習慣病の予防など、様々な困難を抱える人々への支援やそうした人々を支える仕組みづくりを主な仕事としている「保健師」の活動について分かりやすく解説します。 |
| | | | 講義番号 197 看護職の活躍の場の広がりについて 看護職は、病気からの回復の支援だけではなく、人々が暮らす様々な場所で健康を守る手助けをしています。本学看護学科では、人間や社会、健康について広く学びます。もちろん卒業後は、病院に勤務する人がほとんどですが、看護学を学んだ人たちが活躍できる場には、病院だけではなく非常に多様な現場が想定されます。本講義では、看護職の仕事内容の幅の広さや可能性について分かりやすく解説します。 |
| | | | 講義番号 198 病気や障害の当事者活動から学ぶ生き方 病気や障害の当事者は、様々な苦勞や弱さを抱えています。それら向き合いながら日々暮らしています。実はそうした生き方から我々が学べることは多いのです。本講義では、メンタルヘルスに関する当事者活動の調査からみてきた当事者の生き方を示し、当事者と共に創り上げていく住みやすい社会について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。 |
| | 講師 | 山口典子 | 講義番号 199 赤ちゃん和妈妈ってすごい！「看護師」「助産師」としての母子支援の魅力 本講義では、看護師や助産師の仕事内容や資格の取得方法について、クイズを交え楽しみながら解説します。また、新生児モデルに触れることで小さな生命へのケアを実際に体験しながら、赤ちゃん和妈妈が安全に快適に過ごすための具体的な支援方法についても分かりやすく解説します。 |
| | 講師 | 高橋智美 | 講義番号 200 安全管理 ～KYT(危険予知トレーニング)を体験してみよう～ 本講義では、医療安全管理者の仕事をしてきた経験をもとに、医療事故とは何か、事故防止のためには何が必要かを分かりやすく解説します。皆さんの身近にある事例を通してKYT(危険予知トレーニング)を実際に体験してもらい、その事例に潜む危険因子と防止策を解説します。 |
| | | | 講義番号 201 老化～「見る、聴く、触れる」の変化を体験してみよう～ 本講義では、老化のメカニズムを分かりやすく解説し、感覚器「見る、聴く、触れる」に視点当てて、皆さんに「高齢者感覚器疑似体験」をしてもらいます。「高齢者感覚器疑似体験」を通して、皆さんと一緒に老化によって高齢者が抱く思いを推察し、人生の大先輩である高齢者に対する接し方について楽しく考えます。 |
| | 講師 | 金子佳世 | 講義番号 202 アフリカでみた看護のチカラ 長く植民地支配におかれたアフリカ。近年も、民族間紛争、政治不安のため、厳しい状況が続く国もあります。そうした国々の保健医療の現状は、どのようなものなのでしょうか？本講義では、JICA専門家としての経験をもとに、医師がいない地域で看護師たちはどのように働いているのかについて、アフリカの現状を交えて紹介します。 |
| 講義番号 203 生活習慣病を防ぐためにできること 生活習慣によって、発症しやすくなる病気、がん、脳卒中、心臓病、糖尿病などを「生活習慣病」と呼びます。適正体重の保持、睡眠リズムの保持、禁煙、野菜・果物・牛乳の十分な摂取、毎朝の食事などは、「生活習慣病」を防ぐために重要です。本講義では、好ましい生活習慣について裏付けとなる様々な研究成果と共に紹介します。 | | | |
| 講師 | 坪川麻樹子 | 講義番号 204 入院している子どもへの看護 皆さんは入院したことがありますか？入院したことのある人はどのような体験をしましたか？本講義では、入院した子どもへのバイタルサイン測定(心拍数や血圧などの測定)、点滴をしている子どもへの看護などから、子どもの不安が少しでも軽減する看護を、動画用いて分かりやすく紹介します。 | |

| | | | | |
|--------|--------|---|-------|---|
| 健康科学部 | 看護学科 | 講師 | 坪川麻樹子 | 講義番号 205 子どもの看護と子どもの権利 「子ども」と一言で言っても、赤ちゃんから中学生まで幅広い年齢層の子どもがいます。その発達段階で関わり方は様々です。本講義では、入院中の子どもの心理や子どもに関わる多職種連携のあり方、処置や治療を受ける子どもに対する看護について、「子どもの権利」の視点から分かりやすく解説します。 |
| | | 助教 | 稲垣千文 | 講義番号 206 病院以外で活躍している看護師 ～訪問看護師について～ 看護師はどこで働いていますか？この問いに対して、多くの人が「病院」と答えるのではないのでしょうか。実は、看護師の活躍の場は病院だけではなく、様々な場所で活躍している看護師がいます。本講義では、そんな看護師の中から、患者様のお宅へ訪問して看護する「訪問看護師」について説明します。 |
| | | 助教 | 和田直子 | 講義番号 207 労働者の健康を支える「産業看護職」について 日本人の大半は労働者です。実はその労働者の健康を守ることは、看護職の大切な役割の一つです。看護職が活躍するフィールドが年々拡大している中、本講義では、労働の場で活躍する「産業看護職」に焦点を当て、その活動内容について紹介します。 |
| | | 助教 | 佐藤純子 | 講義番号 208 高齢者の感覚を体験しよう！ 健康人であっても、加齢によって体の細胞が少なくなり、皮膚や筋肉、各臓器などに委縮が現れてきます。その結果、筋肉や臓器などの機能が低下していき、生活や健康上の問題が発生します。そのような機能低下はイメージしにくいと思います。本講義では、その機能低下により高齢者の体の感覚はどのように変化していくのかについて、実際に疑似体験しながら高齢者の身体的変化や心理的变化を踏まえながら紹介します。 |
| 社会福祉学部 | 社会福祉学科 | 教授 | 松山茂樹 | 講義番号 209 少子高齢社会の社会保障 私たちの国の高齢化率(全人口に占める65歳以上人口割合)は2010年で23%となっており、今後2050年には約40%になると推計されています。また、合計特殊出生率(15歳以上50歳未満の女性が出産する平均数)も、2010年には1.39と低い数値となっています。本講義では、このような少子高齢社会における社会保障のあり方を考察します。 |
| | | | 松山茂樹 | 講義番号 210 福祉サービスと権利擁護 本講義では、高齢者・障害者・児童などを対象とした社会福祉サービスの概要を踏まえ、福祉サービスの利用者に対する権利擁護の諸制度の理解を深めます。また、人間としての尊厳をどのように保障していかなければならないのか、その制度や仕組みについても考えます。 |
| | | 教授 | 横山豊治 | 講義番号 211 社会福祉の歴史 ～古代日本編～ 本講義では、日本における社会福祉の発達の過程を学習する一環として、社会福祉の前史にあたる慈善活動が古代社会の中でどのように行われていたかを中心に解説します。「平城京への遷都」という当時の国家プロジェクトの陰に、慈善による救済を必要とする人々が多くいました。そのことに目を向けていた人物に焦点を当てます。 |
| | | | 横山豊治 | 講義番号 212 フィクション作品をとらえて“医療ソーシャルワーカーの働き”を考える 本講義では、1980年代から2013年までの間に、医療ソーシャルワーカーを主人公として描いて制作されたフィクション作品(漫画3点、小説2点)を中心に、ソーシャルワーカーの働きや職業像がどのように描写されているかを比較検討し、それぞれの特徴や現実との違い、作品が提示している課題について考察した結果を解説します。 |
| | | 教授 | 渡邊敏文 | 講義番号 213 福祉を知ろう 現代の社会福祉は、従来の高齢者や障がい者などの福祉に加え、自然災害の被災者や食品公害への支援も新たな福祉分野といわれています。その領域はますます広がっており、福祉は人間の生活のあらゆる場面に関係しています。これらを踏まえ、本講義では、①「福祉とは？」②「福祉の専門職とは？」③「福祉の考え方(ideology based)とは？」④「暮らしと生活」などについて分かりやすく解説します。 |
| | | 教授 | 吉田輝美 | 講義番号 214 地域で支える認知症 認知症は他人事ではない時代となりました。認知症の方が安心して住み慣れた地域で暮らし続けるためには、認知症を理解する地域づくりが必要です。本講義を通して、自治会や商店街、コンビニや銀行などが参加し、地域で見守る活動をどのように普及させていけるかについて一緒に考えてみましょう。 |
| | | | | 講義番号 215 高齢者虐待について考える 本講義では、高齢者虐待にはどのような種類があるのか、またどうして高齢者虐待は起きてしまうのかについて分かりやすく解説します。また、高齢者虐待防止法には規程されていない、セルフネグレクト(いわゆる「ごみ屋敷」に住む人やサービスを拒否する人、地域から孤立している人)についても解説します。 |
| | | 教授 | 伊東正裕 | 講義番号 216 カウンセリング入門～ロールプレイングを通して～ 本講義では、こころの相談としてのカウンセリングの基本的な考え方や態度について、ロールプレイングを通して体験的に解説します。皆さん自身が実際に相談者としての役割を演じてみることによって、私たちの日常生活を振り返り、人間の行動への理解を深めることも目指します。 |
| | | | | 講義番号 217 対人援助の基本 保健・医療・福祉の仕事は、広い意味で対人援助を行う仕事です。様々な専門職がこの仕事を担っていますが、対人援助には共通の基本的な考え方がありません。本講義では、対人援助において最も大切なことは何か、心理療法やカウンセリングの具体的な事例を通して考えます。 |
| | | 教授 | 武井恒美 | 講義番号 218 児童虐待の現状と対応 本講義では、新潟県内児童相談所における虐待相談の状況とその対応方法、虐待のサインの把握などについて学びます。また、虐待の早期発見や早期対応における福祉・保健・医療・教育などの機関連携の必要性や、子育て支援における地域連携の重要性などについても学びます。 |
| 教授 | 鈴木昭 | 講義番号 219 うまくいかないことが続くとどうなるか～相談の出番です 充実した毎日を送っていたのに、突然、あたまが真っ白になるような自分の力だけではうまく対処できない状況に陥ったとき、そのような事態が長く続くとどうなると思いますか？対処法として、まわりの友だちや先生に相談するのが一番ですが、本講義を通して、事前に心の危機の特徴と危機をのりこえる手がかりについて、知っておくともっと良いですよ。 | | |
| | | 講義番号 220 かけがえのない人生を応援する保健医療福祉の仕事 少子高齢社会がすすみ、私たちが安心して暮らしていくための社会保障や保健医療福祉を取り巻く環境も大きく変わってきています。そのような中、いのち(保健・医療)、暮らし(福祉)が一つになって、いのちや暮らしの舞台であるかけがえのない人生を応援し、まるごと支える役割を担っているのが、保健医療福祉の仕事です。本講義では、時代が求めているこれら高度専門職業人の活躍を紹介します。 | | |

| | | | | |
|--------|-------|------|---|---|
| 社会福祉学部 | 教授 | 藤沢直子 | 講義番号 221 児童虐待の防止に向けて 近年、児童虐待件数が増加し続け、たびたび悲惨な事件が報道されるなど、児童虐待が大きな社会問題となっています。児童虐待を防ぐにはどうしたら良いのか、私たちには何が出来るのかを社会全体で考えてみる必要があるのではないでしょうか。本講義を通して、児童虐待の現状とその背景を理解し、対象者への支援の仕組みを学びながら、私たちに何が出来るのかを一緒に考えてみませんか？ | |
| | | 准教授 | 寺田貴美代 | 講義番号 222 内なる国際化を考える 本講義では、国内における国際化の現状と課題を理解するための基礎として、日本の地域社会に居住する外国人をめぐる、近年の主要な問題について考えます。それにより、現代社会における人々のさまざまな生き方や多文化共生のあり方について考えます。 |
| | 准教授 | | 河野聖夫 | 講義番号 223 保健・医療分野における社会福祉専門職「医療ソーシャルワーカー」の仕事 本講義では、医療機関において相談援助、退院支援、地域医療連携などを仕事としている医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士)について、実践例を交えながら紹介します。また、医師や看護師、理学療法士、作業療法士などの医療ソーシャルワーカーと連携する他職種との役割について確認するとともに、医療ソーシャルワーカーが社会福祉専門職としてどのような役割を担っているのか、その必要性について分かりやすく解説します。 講義番号 224 社会福祉の専門職 ～仕事の内容と相談援助の実際～ 本講義では、社会福祉士や介護福祉士などの福祉に関わる専門職について分かりやすく解説します。また、その様々な仕事内容についてDVDを用いて紹介します。さらに、病院で活躍する福祉の専門職である「医療ソーシャルワーカー」に注目し、スライドを用いてその実践例について分かりやすく解説します。 |
| | | 准教授 | 峯島道夫 | 講義番号 225 クリティカル・シンキング 人間は、「分かった」あるいは「分かっている」と思う対象については、それ以上深く考えようとしなくなるものです。しかし、それは単に「分かったつもり」でいるだけなのかもしれません。そのような思い込みを避け、対象をより良く理解するための思考法が「クリティカル・シンキング」です。本講義では、クリティカル・シンキングのスキルの伸長を目指し、英語のテキストの読解演習を行います。テキストの単なる理解に留まらず、テキストを多面的に検討し、よりバランスの取れた解釈や評価ができるようになることを目指します。 |
| | 准教授 | | 青木茂 | 講義番号 226 マンガ「ドラえもん」を社会福祉の視点で読む マンガ「ドラえもん」。皆さんも一度は夢中になったことがあるのではないのでしょうか？実は今、ドラえもんは一つの学問として確立されようとしています。マンガの中には勇気づけられる言葉、人生の生き方のヒントがふんだんに盛り込まれています。本講義では、マンガ「ドラえもん」を「社会福祉の視点」から読んでみます。現代社会の諸問題をドラえもんのストーリーから一緒に考えてみましょう。もしかしたら秘密の道具で解決ができるかも…。そんな夢がふくらむ講義を行います。 講義番号 227 社会福祉士の仕事 ～ソーシャルワーカーってなに？～ 福祉の専門職に社会福祉士があります。別名「ソーシャルワーカー」ともいいます。社会福祉士は、福祉施設・病院・自治体など様々なところで活躍しています。本講義では、社会福祉士が実際にどのような仕事をしているのか、その一端を紹介します。また、「福祉のお仕事適性診断」やソーシャルワーカーになったつもりで、皆さんならばどのような対応をとるか「二択クイズ」にも挑戦します。 |
| | | 青木茂 | 講義番号 228 命と生活を守る制度 ～生活保護のお話～ 病気や心身に障がいを負ったり、高齢で働けなくなった時、収入が途絶え生活することが困難になることがあります。そのような時に命と生活を守る最後のセーフティネット(安全網)である「生活保護制度」を活用するという方法があります。本講義では、あるお笑いタレントの生活保護に関する一連の報道をもとにして生活保護制度の内容と現状と課題を分かりやすく解説します。 | |
| | | 准教授 | 五十嵐紀子 | 講義番号 229 コミュニケーション学を学ぼう： 生きるための哲学、支え合うための学問 「コミュニケーション」は誰でも知っていることばですが、コミュニケーションを専門的に研究する分野、コミュニケーション学とは一体どんな学問なのでしょう？哲学と聞くと難しく思えるかもしれませんが、哲学とは人が豊かに支え合いながら生きていくために、どんなことに目を向けていくべきかを深く考えることです。本講義を通して、病気をしたり、障害があったり、人とちょっと違うというだけで生きづらくなってしまふ社会を変えていくための新たな視点を一緒に探しましょう。 |
| | | | 五十嵐紀子 | 講義番号 230 ちょっとの工夫でスピーチ上手 授業やちょっとした集まりでのプレゼンやスピーチ。できれば避けて通りたい、という人も多いはず。本講義では、効果的なスピーチをするためにはどうしたら良いか、スピーチコミュニケーション理論を踏まえながら分かりやすく説明します。ちょっとしたコツを押さえれば、もうスピーチなんか怖くない！ |
| | 五十嵐紀子 | | 講義番号 231 映画で英語と文化を学ぼう 英語はできるようになりたいけれど、どうしたらいいの？学校で習った英語は通じるの？本講義では、そんな疑問を解決し、映画を楽しみながら英語を効果的に身につける方法について分かりやすく説明します。また、字幕と実際のセリフを比較することで、言葉の構造や文化背景への理解を深めます。 | |
| | 准教授 | 松本京介 | 講義番号 232 「夢」には意味がある？意味がない？ 寝ているときに見る夢。それは個体内の生理学的な現象であり、その内容には意味がないと考える立場があります。一方、夢は他者に向けられたメッセージとして関係の中で理解される可能性を持つ現象であり、その内容には意味があると考える立場もあります。本講義では、睡眠時の夢を題材に、生理心理学と臨床心理学の2つのアプローチを比較しながら、心理学および心理的支援について考えます。 | |
| | | 准教授 | 渡邊豊 | 講義番号 233 災害が起きたらみんなで助け合おう！ 「災害は忘れた頃にやってくる」と言われていますが、地震、豪雨、豪雪などの災害が近年増えています。本講義では、災害が起きた時のお互いの助け合いや福祉などの専門職の役割(自助・共助・公助)について、阪神淡路大震災、新潟・福島豪雨、中越地震、中越沖地震、東日本大震災などにおいて、子ども、高齢者、障害者、外国人の方々(災害時要配慮者)に支援活動を行った経験をもとに分かりやすく解説します。 講義番号 234 自分で判断することに不安がある高齢者、障害者が地域で生活するために 福祉サービスの利用や財産の管理を自分で行うことに不安がある認知症高齢者、知的障害者、精神障害者が、住み慣れた地域の中で安心して自立した生活を送れるよう支援する仕組みとして、日常生活自立支援事業、成年後見制度などがあります。本講義では、これらの制度の利用方法や地域の高齢者、障害者を包括的に支援する人達(機関・団体)のネットワークについて、分かりやすく解説します。 |
| | 講師 | | 鈴木未来 | 講義番号 235 働くルールと社会保障 本講義では、働き過ぎやワーキング・プアといった「仕事と生活とのバランス」のあり方について分かりやすく説明します。また、世の中で働く際に知っておきたい最低限のルールとそれを支えるセーフティ・ネットとしての社会保障の世界についても説明します。 ※『みんなが知りたい「働くルールと社会保障」が分かる本』を講義用に配布します。 |
| | | 鈴木未来 | 講義番号 236 社会福祉と健康保険 ～日常生活での関わり～ 人間らしい生活をみんなで一生を通じて支え合う仕組みとして社会保障制度があります。本講義では、その中で日常生活と関わりの深い健康保険を例に、社会保障制度の仕組みについて学びます。日本の健康保険の特徴「国民皆保険」には、社会保障制度の仕組みとして世界的にも重要な発想が含まれることを一緒に理解しましょう。 | |

| | | | | |
|--------|--------|----------|----------|---|
| 社会福祉学部 | 社会福祉学科 | 講師 | 鈴木 未来 | 講義番号 237 社会調査のウソ・ホント 世の中の声を広く伝えているように“みえる”社会調査。調べる前から結果は決まっているのに、自分には当てはまらないのに、なぜか納得してしまう、そんな経験ありませんか？本講義では、皆さんと一緒にヒトはなぜ社会調査を信用してしまうのか、その理由について考えます。 |
| | | 講師 | 野口 晃 | 講義番号 238 精神障害者施策の変遷とノーマライゼーション 本講義では、我が国の精神障害者施策について解説します。また、精神障害者を対象とした初めての法律である精神障害者監視法や、その後、現在に至るまでの法律や制度の展開を時代背景の中で読み解きます。さらに、今日の精神保健・医療・福祉の現状と課題についてもノーマライゼーションの視点から分かりやすく解説します。 |
| | | | | 講義番号 239 精神障害の基礎知識と精神保健・医療・福祉の現状 本講義では、精神障害の特性や定義、代表的な精神障害や入院制度の概要、精神障害者保健福祉手帳や職親制度などの福祉制度について分かりやすく解説します。また、日本および新潟県の精神保健・医療・福祉の現状について、統計数値のグラフ・表を用いて分かりやすく解説します。 |
| | | 講師 | 原口 彩子 | 講義番号 240 カウンセリング入門 ～人の心が分かるとは？～ カウンセラーという“すぐに人の心を読める人”というイメージがありませんか？カウンセリングを勉強していくと、“人の心は簡単には分からない”ということが分かってきます。目の前の来談者がゆっくりとでも自分の力で前へ進んでいくためには、相談を受ける側の姿勢、態度、想像力がとても大切です。本講義を通して、来談者の心を受け止め、理解するとはどういうことか、皆さんと一緒に考えます。 |
| | | 助教 | 渡邊 恵司 | 講義番号 241 人との関わりを円滑にするための工夫 ～自分自身を知る（自己覚知）～ 人は、ひとりでは生きてはいけない生き物です。必ず人との関わりが必要となります。しかしながら、人との付き合いが面倒で、避けたいくなることありませんか？そんな人との関わりを円滑にするためには、自分自身を知っておくことが大切になります。本講義を通して、「人との距離の取り方・保ち方」を理解し、「自分自身を知ること(自己覚知)」と一緒に考えてみませんか？ |
| | | 助教 | 大根澤 恵美子 | 講義番号 242 介護福祉士の必要性和活躍の場 本学社会福祉学科には、社会福祉士と介護福祉士のダブルライセンスを取得できるコースがあります。本講義では、地域で介護の支援を必要としている方々の一番近いところで、個別に介護支援を行う専門性の高い介護福祉士の必要性和活躍の場について分かりやすく解説します。 |
| | | 助教 | 白野 絹子 | 講義番号 243 「プラス医療の実践」で輝く専門職～介護福祉士について～ 本学社会福祉学科には、社会福祉士と介護福祉士のダブルライセンスを取得できるコースがあります。「介護福祉士」は主に高齢の方々が暮らす施設や住み慣れた地域で日常生活上の多様なニーズを支えるほかに、医師の指示のもとに行う「喀痰吸引」と「経管栄養」が、その業務として新たに位置づけられました。本講義では、他職種と連携して医療的ニーズを抱える方たちの日常生活をより豊かにしていくことを期待されている「介護福祉士」について、分かりやすく解説します。 |
| | | 助教 | 丸山 仁 | 講義番号 244 はたらくことの豊かさ・奥深さ 本講義では、対人サービスの場面を通じて得ることのできる、感動や喜びの実例を分かりやすく解説します。また、職員・人間として成長していくための、言動・態度・関係づくりのポイントについても紹介します。自分自身が成長していくためにどのようなことが大切なのか、皆さんも一緒に考えてみませんか？ |
| | | | | 講義番号 245 好かれる「ことば」、嫌われる「ことば」 人間の生活の質を向上させ、幸福な状態を追求しようとする社会福祉の現場では様々な「ことば」が飛び交っています。使われてきた言葉、使われなくなった言葉、好まれる言葉、嫌われる言葉など様々な「ことば」があります。本講義を通して、その様々な「ことば」の持つ意義や背景などを理解し、「人間観や福祉観」を表現する“自分”のキーワードを考えてみませんか？ |
| | | 医療経営管理学部 | 医療情報管理学科 | 教授 |
| 教授 | 佐藤 弘 | | | 講義番号 247 古くて新しい医学 ～漢方医学とは？～ 漢方薬や鍼灸って本当に効くの？など、実際のところは良く分からないと思われてきた漢方医学。近年の研究によると、漢方医学は最先端の医学と背中合わせの状態にあることが分かってきました。これまで経験に基づいて実践してきたことが、科学的に理解できるようになったのです。本講義では、漢方医学の基本的な考え方や研究成果、漢方医学がこれからの医療にはたす役割について説明します。 |
| 教授 | 石上 和男 | | | 講義番号 248 保健・医療・福祉分野に求められるもの 本講義では、新潟県における保健・医療・福祉の現状を捉えるとともに、今後解決すべき課題について皆さんと一緒に考えます。将来的にはさらなる需要の増大が見込まれているこの保健・医療・福祉の分野について、本講義を通して、具体的な方法や施策を提案できるように、皆さんと一緒に考えます。 |
| | | | | 講義番号 249 地方公務員の仕事と心構え 本講義では、新潟県職員として主に保健・医療・福祉の分野に36年間勤務した経験から、公務員としての心構え、仕事内容について分かりやすく解説します。さらに、医療情報管理学科で養成している診療情報管理士やドクターズクラークの職務と役割、将来性について分かりやすく説明します。 |
| | | | | 講義番号 250 医療機関で働く上での心構え 皆さんの中にも医療の現場で働きたいと思っている人はいるのではないのでしょうか？本講義では、実際の医療現場について紹介します。患者様側の心理、それに対する医療機関側の心構え、医療従事者に求められるスキル、患者様との信頼関係構築のためのポイント、チームアプローチの大切さなどについて分かりやすく解説します。 |
| 准教授 | 寺島 和浩 | | | 講義番号 251 医療に役立つバイオメカニクス バイオメカニクスとは、人体などの生体(バイオ)に運動の法則などの力学(メカニクス)を応用して解明する分野で、医療などに役立てられています。本講義では、そのようなバイオメカニクスについて分かりやすく解説します。 |
| 准教授 | 井上 弘樹 | | | 講義番号 252 医療における意思決定とベイズ統計について 医療において診断や治療を行う際に、医師が患者側に意思決定を求める場面では、医師から提供される何らかの理由や根拠に基づいて意思決定が行われています。本講義では、医師が導きだす根拠のもととして用いられることの多い「ベイズ統計」の保健・医療での応用について、基本的な考え方を分かりやすく解説します。 |

| | | | | |
|----------|----------|----|------|--|
| 医療経営管理学科 | 医療情報管理学科 | 講師 | 高橋直樹 | 講義番号 253 心理学入門 心理学は、人間の心や行動を理解する学問ですが、医療・福祉教育の場で心理学を学習する時には、2つの目的が考えられます。第1に、学生が自己を良く理解するため、第2に、他者(特に患者様など)の心理を良く理解するためです。本講義では、医療・福祉分野を目指す学生が、自己と他者をより深く理解するための心理学の基礎を分かりやすく解説します。 |
| | | | | 講義番号 254 自分を知らるための性格検査 今後の進路や自分の適性などを知るためには、自分自身の性格を知ることが大切です。本講義では、YG性格検査(質問に対して「はい」「いいえ」「どちらでもない」で回答する性格診断検査)を皆さんに実際に体験してもらい、医療・福祉分野を目指す高校生が自分自身についてより深く理解することを目的とします。 |
| | | | | 講義番号 255 現代の若者の心理 現代の若者は、以前の若者と比較してどのように変化したのでしょうか?本講義では、教育の現場に携わってきた経験にもとづく具体的な事例を交えながら、若者における心理・行動の特徴を心理学の立場から分かりやすく解説します。 |
| | | 講師 | 張国珍 | 講義番号 256 身近なソフト(Excel)でゲームを作ってみよう! 本講義では、ふだん、表計算に利用されているソフト「Excel」のVBA機能(Visual Basic for Applications)を活用し、実際にコンピュータを使用しながら、おみくじなどのかんたんなゲームの作り方について分かりやすく説明します。 (必要環境:ExcelがインストールされたPC) |
| | | | | 講義番号 257 会計を使って覚えるビジネス英単語 学校で習った貸借対照表を使って、ビジネス界で頻出の英単語を覚えてみませんか?意外なところで役に立つはずですよ。本講義では、簡単な貸借対照表に出てくる勘定科目の英語表記について学習するとともに、ビジネスの様々なシーンで使われる興味深い英語表現について学びます。 (※商業高校または商業科の生徒で簿記履修経験者を対象とした講義です) |
| | | 助教 | 近藤正紀 | 講義番号 258 ネットワーク社会で秘密を守る スマートフォンを使ってLINEのメッセージや電子メールが日常的に交換されています。便利な道具ですが、ネットワーク内を通過する途中で他人が誰にも知られずに覗き見ることができるのを皆さんは知っていますか?仮にその内容が書き換えられて相手に届いたり、他人が自分の振りをしてゲーム内で課金したりしたら、かなり困るでしょう。情報漏洩事件の増加など、個人で、学校や会社で、そして社会全体で“秘密の情報を保護”ことが重要視されています。本講義を通して、そのような“秘密の情報を保護”方法を考えてみましょう。 |
| | | | | 講義番号 259 3Dプリンターの数学 2014年12月、ISS(国際宇宙ステーション)で3Dプリンターを使って初めてMade In Spaceの部品が作られました。この装置の作製は学生のプロジェクトからスタートしたのですが、宇宙に必要な部品を宇宙で製造する(つまり、地球から部品を送る必要がなくなる)ことで、宇宙ミッションに役立つと期待されています。世の中のほとんどの物は数学が基礎理論として使われていて、使いこなすには数学の知識があった方が良くも多々あります。本講義では、3Dプリンターなどのように、高校数学の少し先にある数学を分かりやすく解説します。 |
| | | 講師 | 木下直彦 | 講義番号 260 今、注目の「バイオインフォマティクス」を学んでみよう! バイオインフォマティクス(生物情報科学)は、生命科学に関わる様々な情報について情報科学の視点からアプローチしていく研究分野であり、現在注目されている学問の一つです。本講義では、バイオインフォマティクスがどのような分野なのか、実際の研究事例などの紹介を交えながら分かりやすく解説します。 |
| | | | | 講義番号 261 ITという魔法で変わる医療 情報化社会の進展によって、医療の世界にもIT化の波が押し寄せてきています。本講義では、電子カルテをはじめとした医療に関する情報システムを分かりやすく紹介します。また、近年注目されている「医療情報技師」や「診療情報管理士」などの専門職の役割についても分かりやすく解説します。 |
| | | 助教 | 谷賢太郎 | 講義番号 262 コンピューターの中の社会 「コンピューターの中に社会を創る。」まるで映画やゲームの世界の話のようですが、現実でもこのような取り組みは行われています。本講義では、コンピューターの中の社会がどのように創られ、現実の社会に活かされているかについて実際の研究事例を交えながら分かりやすく解説します。 |

新潟医療福祉大学 大学見学会

高校生やPTAの方々を対象に、学校単位で「大学見学会」を実施しております。大学の概要説明や施設見学のほか、本冊子に掲載されている教員の模擬授業や在校生による座談会など、希望に沿って実施することが可能です。ぜひ、この機会に新潟医療福祉大学へ足をお運びください。



見学内容例

大学概要説明

学部学科構成や特色、目指す資格、卒業後の進路など、本学の最新情報をご説明します。

(所要時間 25分～40分)



キャンパス見学

各学科の実習室や図書館などのアメニティ施設をご案内します。

(所要時間 30分～60分)



在学生との座談会

貴学の卒業生から、学生生活の紹介や質疑応答を行います。

(所要時間 10分～20分)



模擬授業

分野・職業理解を目的に、本冊子に掲載されている教員による模擬授業を行います。

(所要時間 35分～50分)



昼食利用

学生食堂にて販売しているお弁当を、お召し上がりいただけます。昼食持参でスペースのみの提供も可能です。(2週間前までに要予約)

(所要時間 25分～40分)



430円程度 飲み物はつきません

注意事項

- ※ 基本コースは、「大学概要説明」と「キャンパス見学」です。(所要時間1時間30分程度)
- ※ 所要時間はあくまでも目安です。可能な限りご要望にあわせて調整致します。
- ※ 「在学生との座談会」と「模擬授業」は学生や教員の都合により実施できない場合がございます。
- ※ (食券購入等での)学食の利用は受け付けておりませんので、ご了承ください。

申込方法

実施予定日の1～2か月前までにお申し込みください。可能な限り高校側の要望に添うようにいたしますが、学内行事等が重なる場合や、申込が集中した場合等の事情によりお断りする場合がありますので、ご了承願います。

お電話で

025-257-4459 (入試事務室)

FAXで

以下の事前申込書に必要事項を記入し

025-257-4456 にFAXしてください。

大学見学会事前申込書

以下の項目を記入し、FAXにてご送付下さい。後日、本学担当者よりご連絡させていただきます。

| | | | | | |
|------|---------------------|--------------------------|-------|-----------|---------|
| 学校名 | | 希望日 | 第1希望日 | 月 | 日 () |
| 担当者名 | (担当:) | | 第2希望日 | 月 | 日 () |
| TEL | — — | 希望見学時間 | | 時 | 分 ~ 時 分 |
| FAX | — — | 見学希望内容 希望内容に○をつけてください | | 大学概要説明 | キャンパス見学 |
| 参加者 | 1年生 2年生 3年生 保護者 その他 | | | 在学生による座談会 | 模擬授業 |
| 参加人数 | 約 人 | | | その他 () | |

新潟医療福祉大学 入試事務室 行 【FAX : 025-257-4456】

高校生のための「出張講義・講演」

お電話またはFAXにてお申し込みください。

お電話でのお申し込み

■受付時間【平日】8:30～17:00(土日・祝休)

☎ 025-257-4459

FAXでのお申し込み

■24時間受付中(年中無休)

📠 025-257-4456

※出張講義・講演一覧に掲載されている講義内容・担当教員以外についてもご相談に応じておりますので、お気軽にお問い合わせください。
なお、担当教員の都合等により、ご希望の講義内容および日時にお応えできない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

FAX申込書

▼下記の必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。

申込日 年 月 日

| | | | | | |
|-----------------|-------------|--|-------|------|--------|
| フリガナ | | | | | |
| 高校名 | | | | | |
| フリガナ | | | | | |
| 担当者様 氏名 | | | | | |
| 住所 | 〒 | - | 都道府県 | 市区郡 | |
| | | | | | |
| TEL | () | FAX | () | | |
| E-mail | | | | | |
| 【希望連絡方法】 | TEL・FAX・メール | 【希望連絡時間】 | 希望なし・ | 時～ | 時 可・不可 |
| 受講希望 講義番号 | | 講義担当 教員名 | | | |
| 受講学年 | 年生 | 受講予定 人数 | | 名 | |
| 本学パンフレットの配布について | 可・不可 | 個人情報の取得について <small>(イベント案内等を希望する方に任意にて記入用紙を配布します)</small> | | 可・不可 | |
| 受講希望 日時 | 第1希望 | 年 月 日 | 時 分～ | 時 分 | |
| | 第2希望 | 年 月 日 | 時 分～ | 時 分 | |
| その他確認事項について | | | | | |



保健・医療・福祉・スポーツの総合大学

新潟医療福祉大学

〒950-3198 新潟県新潟市北区島見町1398番地 新潟医療福祉大学 入試事務室

TEL 025-257-4459

FAX 025-257-4456

E-mail nyuusi@nuhw.ac.jp

URL <http://www.nuhw.ac.jp/>